

緊急通報装置

パトホン PT-2060MS/MS1

取扱説明書／工事説明書



ニカド電池のリサイクルにご協力ください



IWATSU

安全にお使いいただくためにお読みください

本製品を安全に正しくお使いいただくため、以下の注意事項をよくお読みになり、必ずお守りください。よくお読みになったあとはいつでも見られる場所に保管してください。

■絵表示について

このマニュアルでは、次の絵表示を使って注意事項を喚起しています。

 警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをした場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをした場合、人が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

お使いいただくために下記の事項は必ずお守りください。

警告

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 衝撃、振動の多い場所は避けてください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 開口部から内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
- 機器に水が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。
- 機器の上や近くに、花瓶、植木鉢、化粧品・薬品・水などの入った容器、あるいは小さな金属物を置かないでください。こぼれたりして中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 通風孔などから金属類や燃えやすいものなど異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。
- 機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
- 故障したまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店などに依頼してください。
- 機器のカバーは、はずさないでください。また、分解・改造は行わないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。
- AC100V 電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機器には、アース(D種接地100Ω以下)を接続してください。アース線を接続しないと、本機器の故障・火災・感電の原因となります。

お使いいただくために下記の事項は必ずお守りください。



警告

- タコ足配線はしないでください。火災・加熱の原因となります。
- 電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物をのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し火災・感電の原因となります。
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体のバッテリースイッチ・電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
- 機器に水が入らないよう、またぬらさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。
- 万一、水その他の異物がこの機器の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ペンダントに使用しているボタン電池を取り外した場合は、小さなお子様ボタン電池を誤って飲むことがないように手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。
- 雷が激しいときは電源コード・回線コードに触れないでください。感電の原因となります。
- 機器を廃棄するときは、一般廃棄物として捨てないでください。
廃棄するときは管轄の自治体（区市町村役場等）に連絡して、しかるべき業者に廃棄を依頼してください。守らないと環境を破壊して第三者の身体に損害を与える原因となることがあります。
- 電池パックはプラス／マイナスの極性があります。機器に接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックの液漏れ・発熱・破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。液漏れ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは本機器専用です。それ以外の機器には使用しないでください。液漏れ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。液漏れ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
 - ・ 火の中に投入したり、加熱しない。
 - ・ 直接はんだ付けしない。
 - ・ プラス・マイナスを針金などの金属類で短絡しない。
 - ・ 電池パックを取り付けるとき、電池パックのコードをはさまない。
 - ・ 外装チューブ（被膜）をはがしたり、傷つけない。
 - ・ 水や海水につけたり、ぬらさない。
- 電池パックを分解、改造しないでください。液漏れ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

お使いいただくために下記の事項は必ずお守りください。



注意

- 壁掛け使用のときは落下に注意してください。けがの原因となります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 機器を風呂場に設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 直射日光の当たるところや、湿度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差込んでください。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグをもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災・感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線はずしたことを確認したうえで、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
- 機器で指定されていない電池は使用しないでください。破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電気溶接機、高周波マシン等の電磁雑音を発生する機器、無線機等強電界を発生する機器の近くの設置には、影響を受ける場合があるため避けてください。
- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 使用済みの電池は火中に投げ入れないでください。爆発して火災・やけどの原因となることがあります。

はじめに

このたびは、岩通アイセック パトホンPT-2060MS/MS1をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
させていただきます。

本書は、本製品の設置のしかたや、本製品の使い方について解説しています。

本製品をご使用になる前に、本取扱説明書をよくお読みになり、正しく取り扱ってください。

また、お読みになったあとも、必要なときにすぐに見ることのできるよう大切に保管してください。

なお、本製品の工事（配線・据え付け・設定・試験調整など）は技術と経験が必要です。

工事は必ず「公衆電気通信工事担任者」の有資格者に依頼してください。また、専用電源工事が必要な場合は、「電気工事士」に依頼してください。

／／／ご注意

- 本製品の故障、誤動作、不具合あるいは停電などの外的要因によって、情報処理・通信などの機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損失については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 通信不良によって生じた障害、通信内容の漏れにつきましても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては予告なく変更する場合があります。
- 製品の仕様、デザイン等に関しては改良のため予告なく変更する場合があります。
- PT-2060MS1は財団法人 日本消防設備安全センターの評定を受けた機器ではありません。財団法人 日本消防設備安全センターの評定を受けた機器をご必要の場合には、PT-2060MSをご購入ください。
- 本製品のペンダントは財団法人 テレコムエンジニアリングセンターの認証を受けた機器です。お客様が分解、改造などを行うことは法律で禁止されております。

お知らせ

- パトホンは、電気通信事業法で定められた「端末機器技術基準適合認定」の対象品です。改造などを行うと法律違反となります。
- パトホンは電子部品(IC等)を採用しているため、テレビ・スピーカボックス等の電磁波や磁気の発生する機器のそばでのご使用は、雑音が発生したり、通信が途切れる等の原因となる場合がありますので避けてください。
- パトホンの故障もしくは不具合などが原因で発生する付随的損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- パトホンは、日本国内で使用するように製作されています。海外では使用できません。
- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。
- 本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化、消失など)に対して、当社は一切責任を負いません。

お願い

- パトホンは停電時でも動作させるための非常用の電池を実装しています。そのため次の事項にご注意ください。
 - ・停電時における動作補償時間は新品の電池で約3.5時間です(電池が古くなりますと、動作補償時間は次第に短くなり、最後には機能しなくなります。)
 - ・電池は消耗品です。定期的に交換してください。
- パトホンを常に正常な状態でご使用いただくために専門技術者に保守契約をしていただき、定期点検を1年に1回以上実施してください。
- パトホンは、パトホン以外の機器(電話回線やセンサなど)と、電線を使用して接続されています。点検時または異常、あるいは不具合がある時には、必ずパトホンに接続されている機器などについても点検を行ってください。

認証／評定／認定

この緊急通報システム用専用通報機パトホンPT-2060MSは、財団法人日本消防設備安全センターで定めた各規則等に従っております。

財団法人 日本消防設備安全センター
性能評定番号 評15-006号
平成15年2月25日

また、技術基準に定められた型式認証等は次の通り取得しております。

財団法人 電気通信端末機器審査協会
認証番号 A02-1017JP
平成14年12月13日

財団法人 テレコムエンジニアリングセンター
認証番号 01AZBA1016
平成14年12月5日

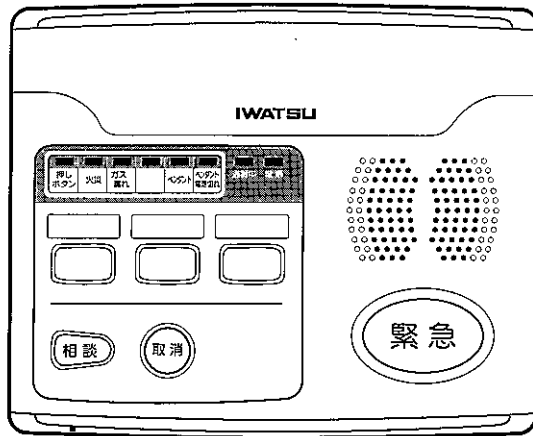
電波自主規制について

この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

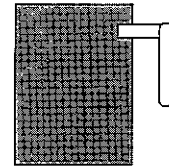
セットを確認してください

本製品には以下のものが入っています。工事依頼する前に確認してください。

■ PT - 2060MS / MS1 本体

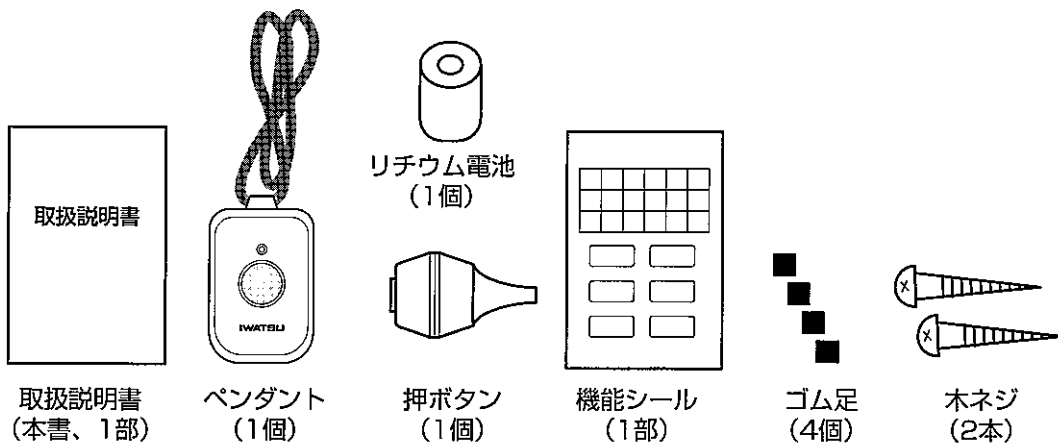


PT-2060MS本体には無線受信ユニットが実装されています。

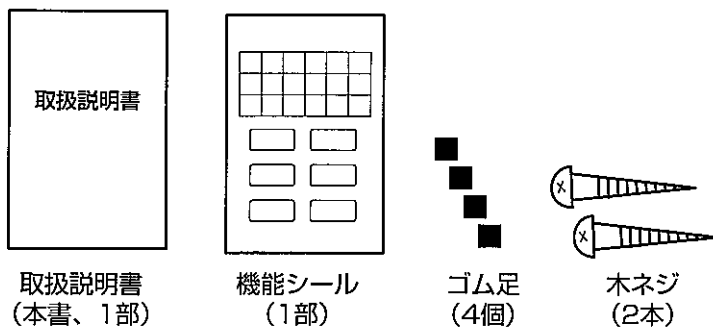


無線受信ユニット

■ PT - 2060MS 添付品



■ PT - 2060MS1 添付品



もくじ

安全にお使いいただくためにお読みください	1
はじめに	4
セットを確認してください	6
お使いになる前に	8
第1章 取扱説明	9
1. 概要	9
2. 機器のしくみ	11
3. 各部の名称とはたらき	12
4. 操作方法	15
第2章 仕様	20
1. 一般仕様	20
2. 各種仕様	21
3. 機能説明	22
4. 自動発信動作の説明	24
5. 機器・電池パックの保守	25
第3章 工事説明	26
1. お願い	26
2. 工事前の準備	26
3. 配線系統図	27
4. 回線の接続系統図	28
5. 各部の名称	27
6. 工事手順	30
7. 上ケース・カバーの取り外し、取り付け方法	31
8. 本体設置前準備	32
9. ケーブル出し口処理	32
10. 本体設置	32
11. アース線接続およびケーブル出し	33
12. 有線押ボタンおよび各種センサ機器の接続工事	33
13. 接続工事後の点検	34
14. 電源投入・再投入	35
15. ディップスイッチの設定	35
16. スピーカ音量設定	35
17. データ設定	36
18. メッセージ録音	39
19. 併設電話機および回線の接続	40
20. ペンダントの電池実装	40
21. ペンダントの起動	40
22. 試験	41
23. 工事終了後の点検	42
24. 保証書の記入	42
25. 送付レベルの設定	42
26. 電池パック交換	43
第4章 保守、定期点検要領	44
1. 注意事項	45
第5章 故障かな?と思ったら	45
第6章 保証書	49

お使いになる前に

本書は、お客様がお使いになるうえでお読みいただく取扱編、本製品の仕様についての仕様編、工事業者が本製品を設置する際にお読みいただく工事編とで構成されています。

本製品をお使いになる前に「**ご注意**」をお読みになり正しくお使いください。

ご注意

- (1)本製品は電源投入のみでは動作しません。データ設定を行ってください。
- (2)通報先と端末番号を登録しないで設定モードから通常モードにすると警告音がなります。設定モードにして、第一通報先と端末番号を登録してください。
- (3)設定モードにてデータ設定中に「緊急」ボタン、ペンダントボタンの押下およびセンサ機器の各種警報・監視信号入力動作があっても通報しません。
- (4)データ設定終了後、センサ機器の各種警報・監視信号の状態が動作モードのときL1～L6のランプと警告音にてセンサ機器の状態をお知らせしますので、センサ機器情報を確認してください。警告音停止は「取消」ボタンにて行います。
- (5)電源投入時はカバーを外して、電源スイッチ（AC-SW）をONしてください。
バッテリーSWをONすると停電時バッテリー動作をします。
- (6)電源を切るときはバッテリーSWをOFFにしてから電源スイッチ（AC-SW）をOFFにしてください。
バッテリーSWをONのまま電源スイッチ（AC-SW）をOFFにするとバッテリー動作となります。ご注意ください。
- (7)上ケースを取り外したときは併設電話機と回線が切り離された状態にありますのでご注意ください。
- (8)新品のバッテリーが満充電状態になるまで、電源投入後48時間が必要です。この間に発生する停電については動作補償時間3.5時間を満足できない場合があります。

■こんなときには

電源を入れるには	35
併設電話機を使うには	15
緊急ボタンで通報するには (通報先番号・端末番号・通報先グループの設定が必要です)	15
ペンダントで通報するには (通報先番号・端末番号・通報先グループの設定が必要です)	15
有線押ボタンで通報するには (通報先番号・端末番号・通報先グループの設定が必要です)	15
相談ボタンで電話をかけるには (相手先番号の設定が必要です)	16
ワンタッチボタンで電話をかけるには (相手先番号の設定が必要です)	16
動作を停止するには	17
電源を切るには	35
工事をするには	30
データ設定するには	35、36
電池パックを交換するには	43
ペンダントの電池を実装するには	40
試験するには	41
保守・点検するには	44

第1章 取扱説明

1. 概要

パトホンPT-2060MS/MS1(以下本装置と称します)は、「緊急」ボタン、ペンダントのボタンおよび防犯・電気機械設備等(以下センサ機器と称します)の警報・監視信号入力動作により、あらかじめ設定した通報先へ電話回線を通して情報を通報する非常通報装置です。また本装置にはワンタッチダイヤルボタン、ハンズフリー機能を装備しておりますので、通常はコミュニケーションツールとしてご利用いただける通信用の端末機です。

/こ/ん/な/こ/と/が/で/き/ま/す/

※併設電話機が利用できます。

※「緊急」ボタンまたは有線押ボタンによる通報ができます。

「緊急」ボタンを1秒以上または有線押ボタンを0.4秒以上押すと、通報動作を始めます。

※ペンダントによる通報ができます。(MS1にはこの機能がありません。)

ペンダント式無線送信機は、電波の届く範囲で1秒以上押ボタンを押すと、通報動作を始めます。

※センサ機器の各種警報・監視信号入力動作による通報ができます。

最大6ポート(ペンダント通報、ペンダント電池切れ通報を含みます)で、各種警報・監視信号入力に対する通報先の組み合わせは、5種類です。

※機器情報の通報ができます。

機器情報は次の4種類です。

- ・ 停電/復電通報
- ・ 定時通報
- ・ 通報停止通報(本体電池切れ通報)
- ・ 在宅/不在通報

※信号通報ができます。

監視センターへ信号通報を行います。

※メッセージ通報ができます。

あらかじめ録音されたメッセージにて通報を行います。

※通報先指定が3カ所できます。

通報先3カ所に対して、OR通報またはAND通報ができます。

OR 通報 3カ所の通報先のどれか1カ所が応答すれば通報を終了します。

AND 通報 3カ所の通報先すべてに通報します。

(不応答時再発信は信号方式98回、音声方式5回)

注意

音声信号の場合には、通報先が自動着信機能のある電話機(FAX電話機、留守番電話機等)のとき通報を受信したと見なされます。

●ハンズフリー通話ができます。

通報後またはワンタッチダイヤル発信後に相手先とハンズフリーにてお話ができます。

●ワンタッチダイヤル発信ができます。

「相談」ボタンおよび「ワンタッチ」ボタンを押すと、あらかじめ登録された相手先に発信し、呼び出しを行います。相手先がお話中または呼び出しに回答しない場合は、次の相手先を呼び出します。

次の相手先がお話中または呼び出しに回答しない場合は、呼び出しを終了します。

●遠隔制御ができます。(制御出力)

遠隔地から電話回線を介してPB信号により本装置(機器)内にある機器制御用リレーを動作できます。

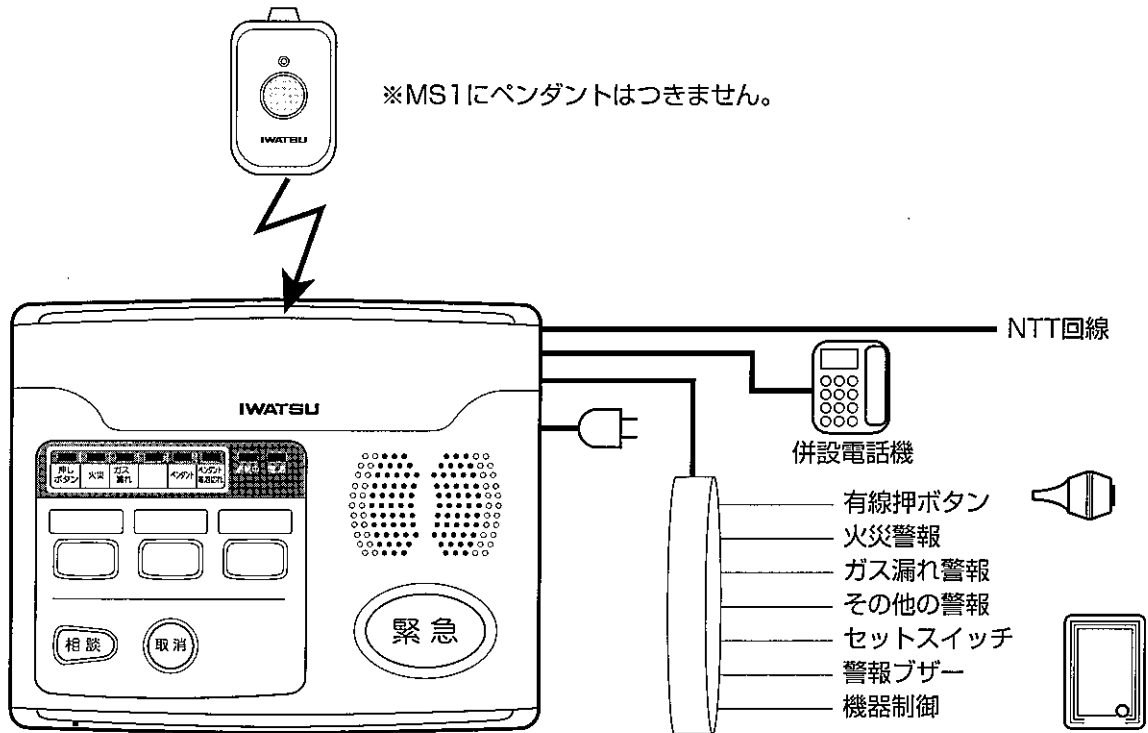
●警報器を制御できます。(外部接点出力)

通報中を知らせるための警報器を制御できます。

通報終了時に警報器の動作を停止します。

2. 機器のしくみ

2-1. システム構成

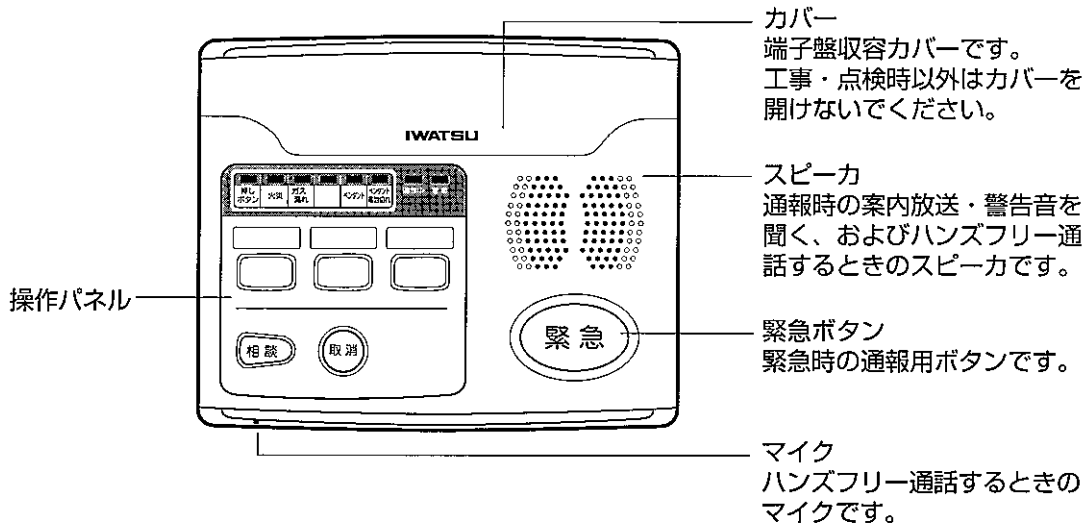


2-2. 構成部品表

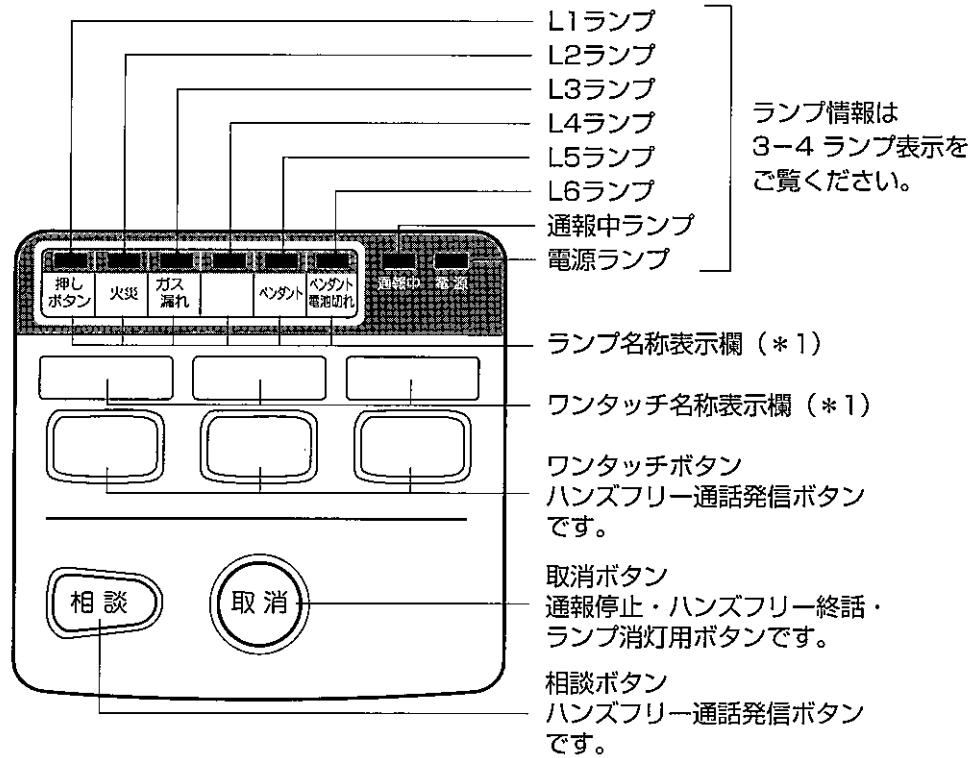
品名	数量				記 事
	最大実装		出荷形態		
	MS	MS1	MS	MS1	
パトホン PT-2060装置	1		1	1	緊急通報装置本体です
配線ユニット	1		1	1	電源、回線・併設電話機用モジュラコネクタおよび各種インターフェース用24端子台を搭載しています
電池パック	1		1	1	停電時動作補償を行うための電池です
無線受信ユニット	1	0	1	0	ペンダント用の内蔵受信機です
ペンダント	2	0	1	0	押ボタンを搭載したペンダント型の無線機器です
有線押ボタン WZ-8	1		1	0	緊急情報入力用の有線押ボタン機器です
火災警報			0	0	無電圧接点の機器を使用してください
ガス漏れ警報	3	6	0	0	無電圧接点の機器を使用してください
その他の警報			0	0	無電圧接点の機器を使用してください
セットスイッチ KE-301	1	1	0	0	在宅／不在の状態設定を行うための機器です
警報ブザー SSS-25S		1	0	0	緊急通報中を知らせるための警報器です

3. 各部の名称とはたらき

3-1. 各部の名称

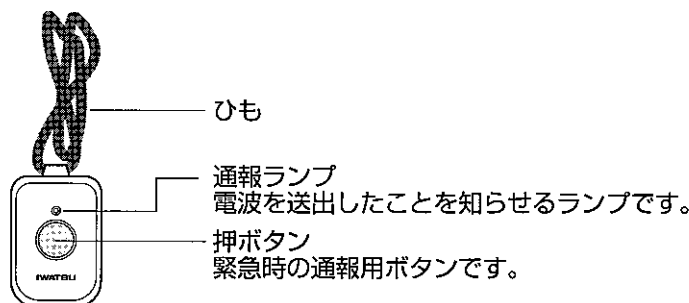


3-2. 操作パネル



(*1) 機能シール (添付品) に名称を記入し、表示欄に貼付してください。

3-3. ペンダント



3-4. ランプ表示

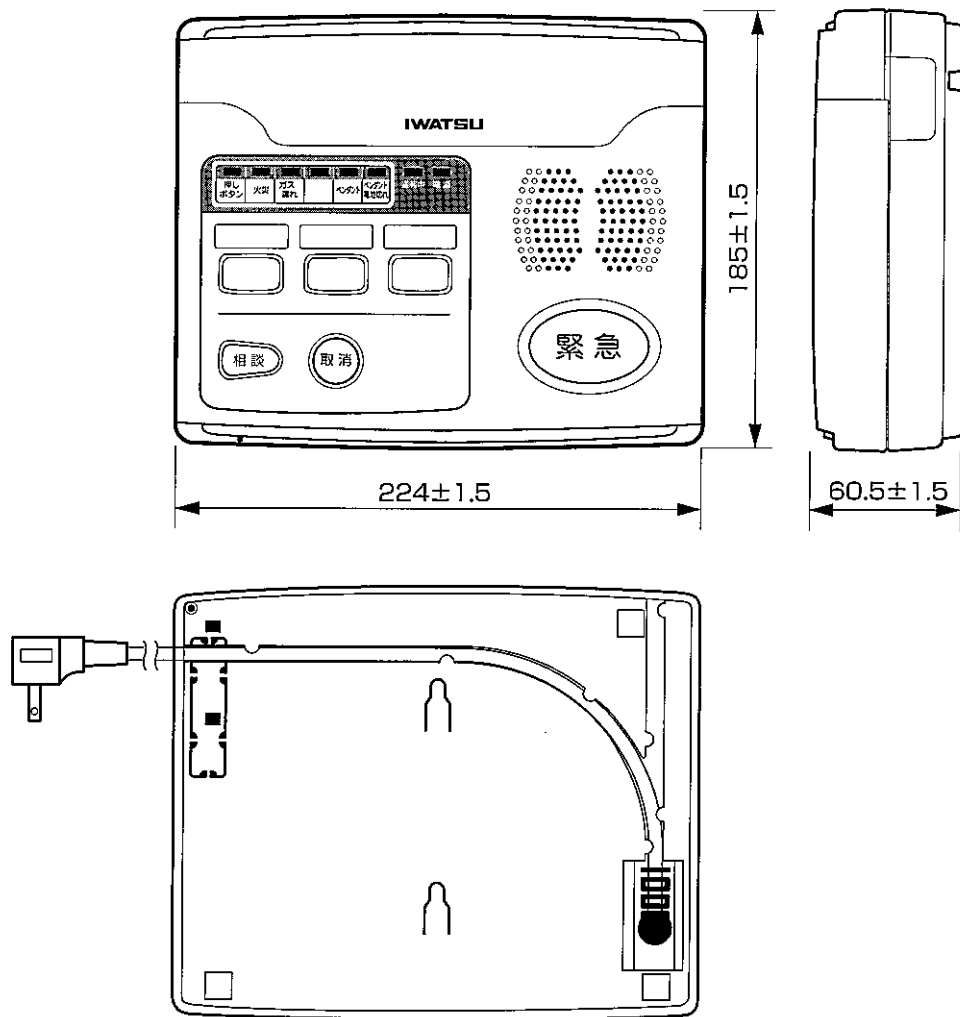
		監視信号	ランプ情報							通報中	電源
			L1ランプ	L2ランプ	L3ランプ	L4ランプ	L5ランプ	L6ランプ			
通常	待機状態のとき		消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯
	併設電話機を使用中のとき		消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯
	停電/未接続のとき		消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点滅
	相談・ワンタッチ発信のとき		消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯
通報中	「緊急」ボタンが押されたとき	S1	点滅	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯
	有線押ボタンが押されたとき	S1	点滅	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯
	火災警報を検出したとき	S2	消灯	点滅	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯
	ガス漏れを検出したとき	S3	消灯	消灯	点滅	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯
	【S4】を検出したとき	S4	消灯	消灯	消灯	点滅	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯
	ペンダントが押されたとき	S5	消灯	消灯	消灯	消灯	点滅	消灯	消灯	消灯	点灯
	ペンダント電池が切れたとき	S6	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点滅	消灯	消灯	点灯
	機器情報を通報中のとき		消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯
	不在設定のとき	S3	消灯	消灯	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯
	「取消」ボタンが押されたとき		消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯
出荷時のパネル表示			押しボタン	火災	ガス漏れ		ペンダント	ペンダント電池切れ			

センサ機器を複数台または別機種のセンサ機器を接続してご使用になる場合には、センサ機器を接続したポートに対応するランプ名称表示欄表記上に機能シール（添付品）を貼付してください。

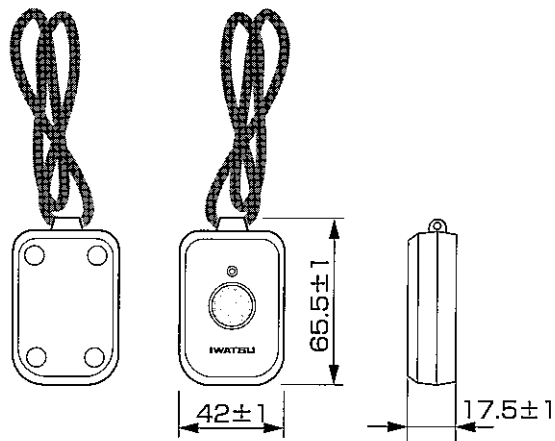
ランプ名称	状態表示	ランプパターン
【L1~L6ランプ】	通報動作完了にて	
	起動時	
【L3ランプ】	不在状態 (監視開始)	【S3】 接点がON (不在) のとき点灯する
	在宅状態 (監視解除)	【S3】 接点がOFF (在宅) のとき消灯する
【通報中ランプ】	回線捕捉中	
	回線解放中	
【電源ランプ】	AC電源稼動	
	停電中	
	電池未接続	

3-5. 寸法図

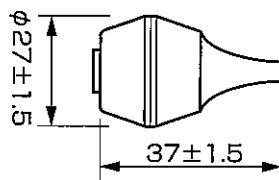
PT-2060MS/MS1本体



ペンダント



有線押ボタン WZ-8



4. 操作方法

4-1. 併設電話機で電話をかける

- 1 受話器を上げます。
「ツーン」という音が聞こえます。
- 2 相手先の電話番号をダイヤルします。
- 3 相手先が出たらお話しください。
- 4 電話を切るときは、受話器を置きます。

4-2. 併設電話機で電話をうける

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴ります。
- 2 受話器を上げて、相手先とお話しください。
電話を切るときは、受話器を置きます。

4-3. 「緊急」ボタンで通報をする

- 1 「緊急」ボタンを1秒以上押し続けます。
- 2 【押しボタン (L1 ランプ)】が点滅します。
- 3 回線を捕捉すると【通報中ランプ】が点灯します。
- 4 相手先を呼び出し中にスピーカより警報音または音声ガイドメッセージを送出します。
相手先に音声通報を開始するとスピーカからの音声ガイドメッセージ送出手は停止します。
- 5 通報を完了すると【押しボタン (L1 ランプ)】は点灯し、【通報中ランプ】は消灯します。

4-4. ペンダントのボタンを押して通報する。(MS 1にはこの機能がありません。)

- 1 ペンダントのボタンを1秒以上押し続けます。
ペンダントの通報ランプが点滅します。
- 2 【ペンダント (L5 ランプ)】が点滅します。
- 3 回線を捕捉すると【通報中ランプ】が点灯します。
- 4 相手先を呼び出し中にスピーカより警報音または音声ガイドメッセージを送出します。
相手先に音声通報を開始するとスピーカからの音声ガイドメッセージ送出手は停止します。
- 5 通報を完了すると【ペンダント (L5 ランプ)】は点灯し、【通報中ランプ】は消灯します。

4-5. 有線押ボタンを押して通報する

- 1 有線押ボタンを0.4秒以上押し続けます。
- 2 【押しボタン (L1 ランプ)】が点滅します。
- 3 回線を捕捉すると【通報中ランプ】が点灯します。
- 4 相手先を呼び出し中にスピーカより警報音または音声ガイドメッセージを送出します。
相手先に音声通報を開始するとスピーカからの音声ガイドメッセージ送出手は停止します。
- 5 通報を完了すると【押しボタン (L1 ランプ)】は点灯し、【通報中ランプ】は消灯します。

4-6. 警報・監視信号入力検出で通報する

- 1 S1～S6の警報・監視信号入力ポートに接続されたセンサ機器が警報・監視信号を送出するとS1～S6の該当したポートに対応する【L1 ランプ】～【L6 ランプ】の何れかを点滅します。
- 2 回線を捕捉すると【通報中ランプ】が点灯します。
- 3 相手先を呼び出し中にスピーカより警報音または音声ガイドメッセージを送出します。
相手先に音声通報を開始するとスピーカからの音声ガイドメッセージ送出手は停止します。
- 4 通報を完了すると【L1 ランプ】～【L6 ランプ】の該当するランプは点灯し、【通報中ランプ】は消灯します。

ご注意

4-3～6の警報音/音声ガイドメッセージの選択は設定SWの設定が必要です。

4-7. ハンズフリーで通話をする

- 1 通報先の相手と2分間ハンズフリーにて通話ができます。
- 2 通報を完了すると【L1ランプ】～【L6ランプ】の該当するランプが点灯します。
- 3 電話を切るときは、「取消」ボタンを押します。
相手先が電話を切ったときは自動的に回線を開放します。
- 4 回線を開放して【通報中ランプ】が消灯します。

ご注意

データ設定が必要です。

4-8. 「ワンタッチ」ボタンで電話をかける

- 1 「ワンタッチ」ボタンを0.4秒以上押します。
- 2 回線を捕捉すると【通報中ランプ】が点灯します。
「ツー」という音が聞こえます。
- 3 データ設定にて、あらかじめ登録されている相手先の電話番号を自動的にダイヤルします。
- 4 相手先が出たらハンズフリー通話にてお話しください。
- 5 相手がお話中または、電話に出なかった場合には、次の相手先を呼び出しますのでそのままお待ちください。

ご注意

データ設定にて登録されていない場合は次の相手先を呼び出しません

- 6 電話を切るときは、「取消」ボタンを押します。
併設電話機にてお話になりたいときは、併設電話機の受話器を上げてお話しください。
相手先が電話を切ったときは自動的に回線を開放します。
- 7 回線を開放して【通報中ランプ】が消灯します。

4-9. 「相談」ボタンで電話をかける

- 1 「ワンタッチ」ボタンを0.4秒以上押します。
- 2 回線を捕捉すると【通報中ランプ】が点灯します。
「ツー」という音が聞こえます。
- 3 データ設定にて、あらかじめ登録されている相手先の電話番号を自動的にダイヤルします。
- 4 相手先が出たらハンズフリー通話にてお話しください。
- 5 相手がお話中または、電話に出なかった場合は、次の相手先を呼び出しますのでそのままお待ちください。

ご注意

データ設定にて登録されていない場合は次の相手先を呼び出しません

- 6 電話を切るときは、「取消」ボタンを押します。
併設電話機にてお話になりたいときは、併設電話機の受話器を上げてお話しください。
相手先が電話を切ったときは自動的に回線を開放します。
- 7 回線を開放して【通報中ランプ】が消灯します。

4-10. 動作を停止する

- 1 「取消」ボタンを押します。
- 2 通報中、ワンタッチ発信中および相談発信中の動作を停止します。
- 3 【L1ランプ】～【L6ランプ】の該当するランプと【通報中ランプ】が消灯します。

4-11. 【L1ランプ】～【L6ランプ】を消す

- 1 「取消」ボタンを押します。
- 2 【L1ランプ】～【L6ランプ】の全ランプが消灯します。

4-12. 遠隔制御をする

【自動応答】

- 1 PB信号を送出できる電話機から電話回線を介して本装置を呼び出すと、設定された回数だけ着信信号を確認した後、併設電話機を切り離して本装置が応答します。
- 2 応答メッセージありに設定されている場合は、応答メッセージを出力した後、暗証番号を受け付けます。
 応答メッセージなしに設定されている場合は、直ちに暗証番号を受け付けます。

ご注意

着信信号回数は、0回、5回、10回、20回の何れかを設定します。
 着信信号回数、0回が設定されている場合には着信自動応答を行いません。

【暗証番号の認識】

- 3 暗証番号の受け付けは受付可能になってから、30秒以内に暗証番号の認識を行います。
 - i 暗証番号は回線からPB信号を受信します。
 - ii 暗証番号は4桁(0000～9999)を任意に設定可能です。
 30秒以内に暗証番号を認識すると、暗証番号認識音を送出した後、制御コードが受付可能となります。
 - iii 暗証番号の入力桁間が3秒間あいた場合、または“#”および“*”を認識したら、それまで入力されたデータは消去されます。
 - iv 暗証番号間違いを2回認識したら、終了音を送出して回線を開放し併設電話機を接続します。
 - v 30秒間に暗証番号を認識できなかった場合、終了音を送出して回線を開放し併設電話機を接続します。

ご注意

データ設定が必要です。

【制御コードの認識】

- 4 制御コードは回線よりPB信号を受信します。
 - i 制御コードは2桁(00～99)とします。
 制御コードを認識すると、制御確認メッセージを送出した後、制御コードに対する動作を行います。
 - ii 制御コードの入力桁間が3秒間あいた場合、または“#”および“*”を認識したら、それまで入力されたデータは消去されます。
 - iii 誤ったコードを認識した場合、制御コード誤り音を送出した後、それまで入力されたデータを消去します。
 - iv PB信号が25秒間ないと、終了警告音を送出します。
 PB信号が30秒間ないか、回線捕捉後3分間経過すると、終了音を送出して回線を開放して併設電話機を接続します。
 ただし、音声送出中にタイムアップした場合は、送出後に回線を開放します。

【音声メッセージとPB信号音】

音声メッセージ1

状 態	音声メッセージ/PB信号音
応答メッセージ	「ただいま不在です。」
暗証番号認識音	ピピピ
制御コード誤り音	ピピピピピ
終了警告音	ピピ
終了音	ピー

音声メッセージ2

制御コード		制御確認音声メッセージ
1行目	2行目	
1	0	「復旧しました。」
	1	「動作しました。」
	2	遠隔制御用リレーの状態により以下を出力します。 ・遠隔制御用リレーがONの場合は「動作しています。」 ・遠隔制御用リレーがOFFの場合は「復旧しています。」

4-13. セットスイッチを使う

警報・監視信号入力ポートS3にセンサ機器としてセットスイッチを接続します。

【在宅通報】

- 1 セットスイッチを「在宅」とします。
- 2 本装置（機器）は機器情報を検知し在宅通報を行います。
- 3 【セットスイッチ（L3ランプ）】が消灯します。
- 4 回線を捕捉すると【通報中ランプ】が点灯します。
- 5 通報を完了すると【通報中ランプ】は消灯します。

【不在通報】

- 1 セットスイッチを「不在」とします。
- 2 本装置は機器情報を検知し不在通報を行います。
- 3 【セットスイッチ（L3ランプ）】が点灯します。
- 4 回線を捕捉すると【通報中ランプ】が点灯します。
- 5 通報を完了すると【通報中ランプ】は消灯します。

【ライブリズムセンサ】

【在宅】

- 1 セットスイッチを「在宅」とします。
- 2 【セットスイッチ（L3ランプ）】が消灯し、S4の警報・監視信号を監視します。
- 3 ある一定時間（データ設定にて設定）にS4の警報・監視信号情報の変化がなかった場合に、生活反応がなかったものとみなしS4の警報・監視信号通報を行います。
- 4 通報を開始すると【ライブリズム（L4ランプ）】が点滅します。
- 5 回線を捕捉すると【通報中ランプ】が点灯します。
- 6 相手先を呼び出し中にスピーカより音声ガイドメッセージを送出します。
相手先に音声通報を開始するとスピーカからの音声ガイドメッセージ送中は停止します。
- 7 通報を完了すると【L4ランプ】は点灯し、【通報中ランプ】は消灯します。

[不在]

- 1 セットスイッチを「不在」とします。
- 2 【セットスイッチ (L3 ランプ)】が点灯し、S4の警報・監視信号を解除します。

ご注意

ライブセンサの有無/セットスイッチの有無/ライブ通報時間設定が必要です。

[不在]

- 1 セットスイッチを「不在」とします。
- 2 【セットスイッチ (L3 ランプ)】が点灯し、S4の警報・監視信号を設定します。
- 3 S4の警報・監視信号入力ポートに接続されたセンサ機器が警報・監視信号を送出すると【L4 ランプ】が点滅します。
- 4 回線を捕捉すると【通報中ランプ】が点灯します。
- 5 相手先を呼び出し中にスピーカより音声ガイドメッセージを送出します。
相手先に音声通報を開始するとスピーカからの音声ガイドメッセージ送中は停止します。
- 6 通報を完了すると【L4 ランプ】は点灯し、【通報中ランプ】は消灯します。

ご注意

ライブセンサの有無/セットスイッチの有無設定が必要です。

4-14. 機器情報を通報する

- 1 本装置が機器情報を検知し機器情報の通報を行います。
- 2 回線を捕捉すると【通報中ランプ】が点灯します。
- 3 通報を完了すると【通報中ランプ】は消灯します。

第2章 仕様

1. 一般仕様

1-1. PT-2060MS「」本体

項目	内容		規格
環境	動作	周囲温度	0℃～+40℃
		相対湿度	30%～80% (結露なきこと)
	保管	周囲温度	-5℃～+50℃
		相対湿度	90%以下 (結露なきこと)
入力電源	電源	AC100V±10V (50Hz/60Hz)	
	消費電力	約16VA	
予備電源	電源電圧	10.5V～8.4V (NiCd)	
	電池容量	700mAh	
	停電補償時間	約3.5時間 (ただし新品電池使用時)	
	停電補償範囲	常温にて3回通報動作をします	
	充電時間	48時間以上	
	電池寿命	約4年 電池は消耗品のため、寿命前に交換が必要です。 工事業者に依頼してください。 (なお、交換なき場合、機能は保証されません)	
	使用電池パック	ニカド電池 7N-700AACL-IWAS	
外観	設置方法	壁掛け/卓上設置	
	寸法	224(W)×185(D)×60.5(H) (mm)	
	重量	約1.25kg (MS) / 約1.21kg (MS1)	
	色	ワームグレイ	

1-2. PT-2060M ペンダント

項目	内容		規格
環境	動作	周囲温度	0℃～+40℃
		相対湿度	30%～80% (結露なきこと)
	保管	周囲温度	-5℃～+50℃
		相対湿度	90%以下 (結露なきこと)
電源	電圧	3V	
	消費電流	約26mA (送信時)	
	電池寿命	約1年 電池は消耗品のため、寿命前に交換が必要です。 工事業者に依頼してください。 (なお、交換なき場合、機能は保証されません)	
	使用電池	リチウム電池 CR-1/3N	
外観	寸法	42(W)×65.5(D)×17.5(H) (mm)	
	重量	約32g	
	色	ワームグレイ	

2. 各種仕様

項 目		内 容	
端末番号		00000~99999	
適用回線		アナログ電話回線 直流抵抗値： 280Ω	
収容回線数		1回線	
ダイヤル方式	種別	10PPS/20PPS/PB	
	桁数	最大20桁（110、118、119番は設定不可）	
	種別切替	SW切替および自動判別	
通報先		最大3カ所。（OR、ANDにて通報） 不応答時の自動再発信回数は 信号通報の場合で98回、音声通報の場合で5回 ①専用受信機 PR-6000（信号通報） ②電話機（音声メッセージ通報）	
通報方式		信号通報：MF信号 音声通報：音声合成音（極性反転が必要）	
音声 メッセージ	IDメッセージ（録音/再生）	1種類（録音/再生時間5秒）	
	緊急メッセージ（録音/再生）	6種類（録音/再生時間5秒）	
	機器情報メッセージ （録音/再生）	4種類（通報停止、定時、停電、復旧） （録音/再生時間5秒）	
	音声ガイドメッセージ （録音/再生）	1種類（録音/再生時間7秒）	
	再生専用メッセージ	音声メッセージ、数字メッセージ11種類	
	メッセージの繰り返し回数	3回	
緊急入力	入力ポート数	6ポート（ペンダント通報、ペンダント電池切れ通報含む） MS：S1~S4 ペンダント通報、ペンダント電池切れ通報 MS1：S1~S6	
	入力抵抗	400Ω以下（無電圧接点）	
	センサ種別	メーク・ブレイク接点条件はデータ設定（無電圧接点）	
	入力継続時間	S1、S4、S5、S6：0.4秒固定 S2：10秒固定 S3：0.4秒/10秒の設定	
	起動条件	立ち上がり起動	
	通報条件	常時通報	
	通報起動時の音声ガイド	緊急入力認識から通報終了まで音声ガイドを送出 （ハンズフリー使用時を除く）	
無線仕様	使用電波	小電力セキュリティ	
	使用周波数	426MHz帯	
	使用 空中線	ペンダント	内蔵アンテナ
		無線受信機	ヘリカルアンテナ（内蔵）
	識別符号化長	51ビット	
	使用範囲	約50m（直線見通し距離） ※ 環境により異なります。	
	使用環境条件	防水（保護等級 7）	
ハンズフリー通話		本体機器にて可能。（極性反転が必要）	
外部出力接点	リレー接点出力 DC50V/200mA以下		
	警報用リレー接点数	2メーク（1ポート）	
	遠隔制御用リレー接点数	1メーク（1ポート）	
電源出力		供給電源 12V/50mA以下（AC電源供給時のみ）	

3. 機能説明

3-1. 通報

PT-2060MSの通報内容と表示

通報項目	PT-2060MS <福祉用 (*1)>				
	検出時間	センサ内容	信号情報 (*7)	音声通報 (*8)	ランプ
各種警報・監視信号入力					
S1	0.4s	押ボタン (*6)	端末番号+06	ID+S1メッセージ	L1
S2	10s	火災 (*6)	端末番号+11	ID+S2メッセージ	L2
S3 (*2)	0.4s	ガス漏れ	端末番号+09	ID+S3メッセージ	L3
	10s	火災	端末番号+11	ID+S3メッセージ	
S4 (*3)	0.4s	S4 (*6)	端末番号+10	ID+S4メッセージ	L4
	(*4)	ライブ (*6)	端末番号+10	ID+S4メッセージ	
S5	0.4s	ペンダント (*6)	端末番号+04	ID+S5メッセージ	L5
S6	0.4s	ペンダント電池切れ (*6)	端末番号+03	ID+S6メッセージ	L6
本体ボタン					
緊急	1s	○	端末番号+06	ID+S1メッセージ	L1
取消	0.1s	通報・通話およびスピーカ音を止める			
相談	0.1s	通報ではなく発信を行う			
ワンタッチ1	0.1s	通報ではなく発信を行う			
ワンタッチ2	0.1s	通報ではなく発信を行う			
ワンタッチ3	0.1s	通報ではなく発信を行う			
機器情報					
定時通報	(*5)	△	端末番号+02	ID+定時通報メッセージ	
通報停止通報	1s	△	端末番号+07	ID+通報停止メッセージ	
停電	30m	△	端末番号+05	ID+停電メッセージ	
復電	10s	△	端末番号	ID+復電メッセージ	
在宅 (監視開始)	0.4s	△	端末番号	ID+S3メッセージ	
不在 (監視解除)	0.4s	△	端末番号+01	ID	

○：随時使用 △：設定によりあり・なしを選択

(*1)ディップスイッチの設定により、福祉用/設備用を選択

(注意) 信号情報は、センサ状態と機器情報状態も付加して送信

(*2)ディップスイッチの設定により、ガス漏れ(0.4s)/火災(10s)を選択

(*3)データ設定により、ライブセンサを選択(ライブセンサはセットスイッチが有るときのみ有効)

(*4)データ設定により、1時間~720時間(30日)/行わないを選択

(*5)データ設定により、1時間~720時間(30日)/行わないを選択

(*6)データ設定により、「随時有効(通常センサ)」・「不在時有効(盗難)」・「在宅時有効(ライブ)」を選択

(*7)信号通報「端末番号+()」の()は専用受信機のプリンタ印字を表示

(*8)音声通報のメッセージ内容は39頁参照

PT-2060MS1の通報内容と表示

通報項目	PT-2060MS1 <設備用 (*1)>				
	検出時間	センサ内容	信号情報	音声通報	ランプ
各種警報・監視信号入力					
S1	0.4s	S1 (*6)	端末番号+10	ID+S1メッセージ	L1
S2	10s	S2 (*6)	端末番号+07	ID+S2メッセージ	L2
S3 (*2)	0.4s	S3 (0.4s)	端末番号+09	ID+S3メッセージ	L3
	10s	S3 (10s)	端末番号+09	ID+S3メッセージ	
S4 (*3)	0.4s	S4 (*6)	端末番号+06	ID+S4メッセージ	L4
	(*4)	ライブ (*6)	端末番号+06	ID+S4メッセージ	
S5	0.4s	S5 (*6)	端末番号+04	ID+S5メッセージ	L5
S6	0.4s	S6 (*6)	端末番号+03	ID+S6メッセージ	L6
本体ボタン					
緊急	1s	○	端末番号+10	ID+S1メッセージ	L1
取消	0.1s	通報・通話およびスピーカ音を止める			
相談	0.1s	通報ではなく発信を行う			
ワンタッチ1	0.1s	通報ではなく発信を行う			
ワンタッチ2	0.1s	通報ではなく発信を行う			
ワンタッチ3	0.1s	通報ではなく発信を行う			
機器情報					
定時通報	(*5)	△	端末番号+02	ID+定時通報メッセージ	
通報停止通報	1s	△	端末番号+11	ID+通報停止メッセージ	
停電	10s	△	端末番号+05	ID+停電メッセージ	
復電	10s	△	端末番号	ID+復電メッセージ	
在宅 (監視開始)	0.4s	△	端末番号	ID+S3メッセージ	
不在 (監視解除)	0.4s	△	端末番号+01	ID	

○：随時使用 △：設定によりあり・なしを選択

(*1)ディップスイッチの設定により、福祉用/設備用を選択

(注意) 信号情報は、センサ状態と機器情報状態も付加して送信

(*2)ディップスイッチの設定により、ガス漏れ(0.4s)/火災(10s)を選択

(*3)データ設定により、ライブセンサを選択(ライブセンサはセットスイッチが有るときのみ有効)

(*4)データ設定により、1時間~720時間(30日)/行わない を選択

(*5)データ設定により、1時間~720時間(30日)/行わない を選択

(*6)データ設定により、「随時有効(通常センサ)」・「不在時有効(盗難)」・「在宅時有効(ライブ)」を選択

3-2. 本装置(機器)に関する機器情報

■定時通報

あらかじめ設定した時間間隔で、自動的に通報相手先に試験通報します。

■通報停止通報

予備電池が所定の電圧にまで降下してしまい、動作不能に陥る寸前に「通報停止」することを通報相手先に通報します。

■停電通報

AC100Vを喪失してから10秒後に、本装置のスピーカより停電メッセージを1分間送出し、30分後に、予備電池の稼働状態で「停電」していることを通報相手先に通報します。

(福祉用の場合、停電検知時間は30分/警備用の場合、停電検知時間は10秒)

■復電通報

停電後、装置(機器)に再度AC100Vが給電されると「復電」したことを通報相手先に通報します。

■在宅通報

セットスイッチを「在宅」とすると「在宅」であることを通報相手先に通報します。

■不在通報

セットスイッチを「不在」とすると「不在」であることを通報相手先に通報します。

3-3. 割り込み機能

本装置（機器）に接続されている併設電話機が使用中（回線話中）のときは、電話機を強制切断し通報を優先して発報します。

3-4. 外部出力端子

警報・監視信号(S1～S6)を検知すると、メーク接点を出力します。接点定格は、DC50V、200mA以下です。

外部に接続する機器によっては動作させる駆動回路とその電源を別に構成する必要があります。

3-5. スピーカ音

警 報 音…緊急ボタン、警報・監視信号(S1～S6)を検知すると、本体のスピーカから断続音が鳴動します。

案内放送…緊急ボタン、警報・監視信号(S1～S6)を検知すると、本体のスピーカから案内放送が流れます。

通報終了後にてスピーカ音は停止します。

なお、警報音と案内放送は設定SW 1～5にて切り替えることができます。

4. 自動発信動作の説明

4-1. 自動発信

■併設電話機を使用していない場合

(1)回線を捕捉し、ダイヤルトーンを約 1.6 秒検知して選択信号を送出します。

(2)ダイヤルトーンを検知できない場合、回線捕捉から約 3.5 秒後に選択信号を送出します。

■併設電話機を使用している場合

(1)通報先発信の場合は、強制的に回線と併設電話機を切り離し、約12秒回線を開放した後回線を捕捉し、併設電話機を使用していない場合と同様にダイヤルトーンを検知して選択信号を送出します。

(2)相談発信・ワンタッチダイヤル発信の場合は、発信無効とし、スピーカより音を送出します。

(3)設定電話番号にポーズが設定されている場合は、ポーズ時間を約 3.5 秒とします。

ただし、ダイヤルトーンを約 1.2 秒検知した場合、3.5 秒経過する前にポーズを終了します。

(4)選択信号送出後もダイヤルトーンを検知した場合は交換機に選択信号を受け付けられなかったとみなし、ダイヤル種別を自動的に切り替えます。切り替えた後は、データ設定に関係なく、切り替えた後のダイヤル種別が設定されます。（この切り替えはダイヤルパルスの 20PPS か P B 信号のどちらかのみです）

4-2. 自動再発信

(1)相手応答を検知できない場合、引き続き自動的に再発信を繰り返します。この時の回線開放時間は約 20 秒です。

(2)信号通報時の繰り返し回数は 1 通報先に対して 98 回、音声通報で 5 回です。（停電／復電の通報は信号通報・音声通報に関係なく 5 回行います。）

(3)3 回目の再発信は 3 分以上の発信となります。

4-3. 相手応答検出

(1)ディップスイッチの設定にて「ENQ 信号／極性反転」を選択できます。

(2)選択信号送出後、約 45 秒後経過しても極性反転（ENQ 信号使用の場合は ENQ 信号）が検知できない

場合、自動再発信を行います。

4-4. 情報送出中の動作

- (1) ENQ信号方式を採用する場合、データ送出後ENQ信号の監視を行い、ENQ信号を検知した後、データを再送します。
- (2) 送出されるデータは起動がかかった入力（緊急・火災信号入力情報・機器情報）と現時点での緊急・火災信号入力状態・機器状態とします。

4-5. 通報中表示

回線を捕捉した時点にて、通報中ランプを点灯し、回線を開放した時点にて消灯します。

5. 機器・電池パックの保守

電池には寿命がありますので交換時期が来ましたら交換してください。なお電池パックの交換工事は、工事業者に依頼してください。



●電池パック回収のお願い

電池パックはリサイクル可能なニカド電池です。不要になった電池パックは、お買い求めになった販売店にご持参いただくか、販売店担当者にお渡しください。リサイクルの推進にご協力ください。

第3章 工事説明

1. お願い

- (1) 工事を行う前に必ずお読みになり、正しく施工してください。
- (2) 関連法規を遵守してください。特に、次の法令等は関係が深いのでご承知ください。
 - 電気通信事業法および端末設備等規則
 - 電気設備に関する技術基準および内線規定
 - NTT電話サービス契約約款
- (3) 工事は、工事担任者に依頼してください。専用電源工事が必要な場合は、電気工事士に依頼してください。
- (4) 本機器にはアース（D種接地 100 Ω以下）を接続してください。
- (5) お客様へは物品の確認、取扱説明書／工事説明書の確認および引渡し試験を実施後、本書を添えてお引き渡してください。
- (6) 線くず類を装置内に落とさないよう十分に注意してください。
- (7) AC電源、コンピュータ、テレックス等の配線と機器配線とは平行に配線しないでください。
- (8) 機器配線の露出配線等で踏まれるなど圧迫される恐れがある場合は、プロテクタ等により保護してください。
- (9) AC電源は100Vであることおよび、設置機器の定格消費電力を供給できることを確認し、コンピュータ、テレックス等と別のコンセントを使用してください。
- (10) 装置を分解・改造しないでください。ネジを装置内に落とした場合は販売店に修理依頼してください。

2. 工事前の準備

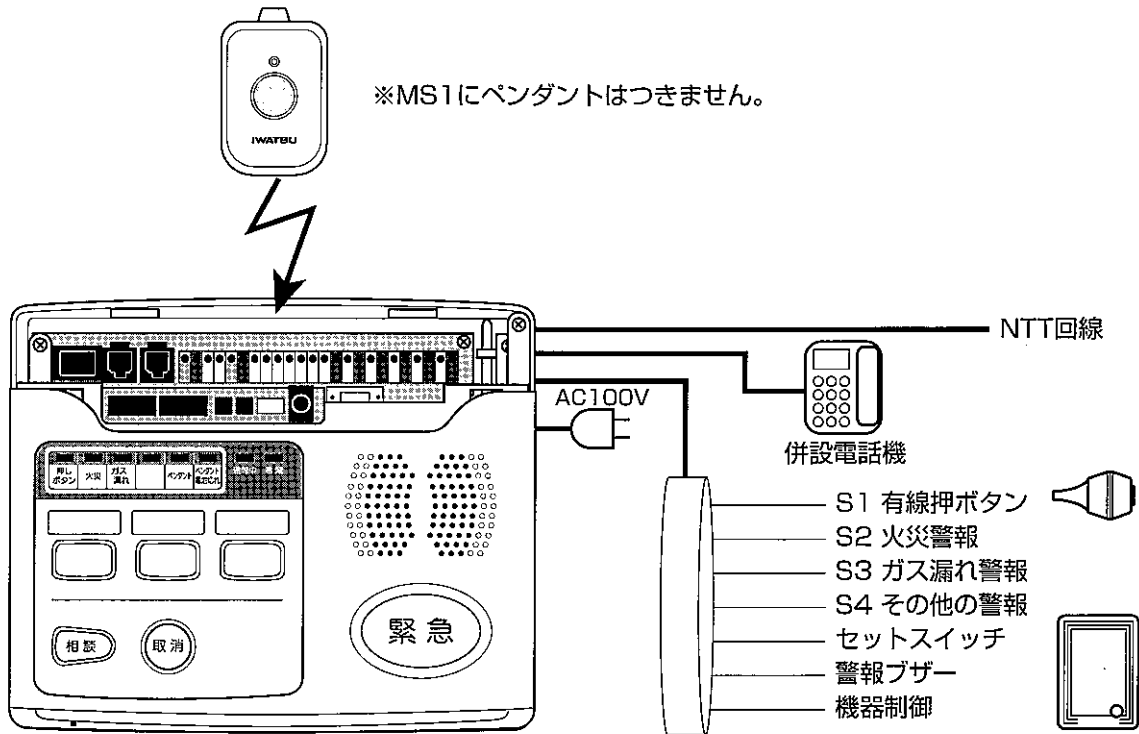
工事を行う前に付属品を確認してください。（→6頁参照）

工事を行う前に必要に応じて次の物品と工具を用意してください。

- ・ 電話機（設定用）
 - ・ 筆記用具（設定確認用）
 - ・ プラスドライバ（M2、M3用）
 - ・ 特殊ドライバ（トルクドライバ M2用：0.15 N・m）
- （消耗品等）
- ・ モジュラーコード（FTC-2（2））
 - ・ 富士ICTケーブル0.5mm×2P相当品
 - ・ アース線 AWG 18（緑 または 緑／黄色のスパイラル）
 - ・ 本体取付板（12×250×300）：必要な場合
 - ・ 束線バンド

3. 配線系統図

【お願い】 工事をされる前に、第1章取扱説明もあわせてご覧ください。



構成機器の外形寸法および重量

品名	外形寸法 W×D×H	重量 (g)
PT-2060MS/MS1 装置本体	224×185×60.5	約1250 (MS) / 約1210 (MS1)
セットスイッチ KE-301	86×136×39	約700
警報ブザー SSS-25S	87×45×87	約122

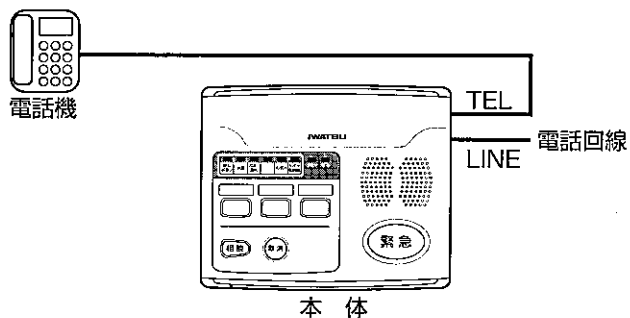
*1: センサ機器はPT-2060MSにて最大4ポート/PT-2060MS1にて最大6ポートまで接続できます。

*2: 工事手配分はお客様と事前に確認したうえで工事してください。

4. 回線の接続系統図

PT-2060MS / MS1 の電話回線、PBX またはボタン電話装置接続

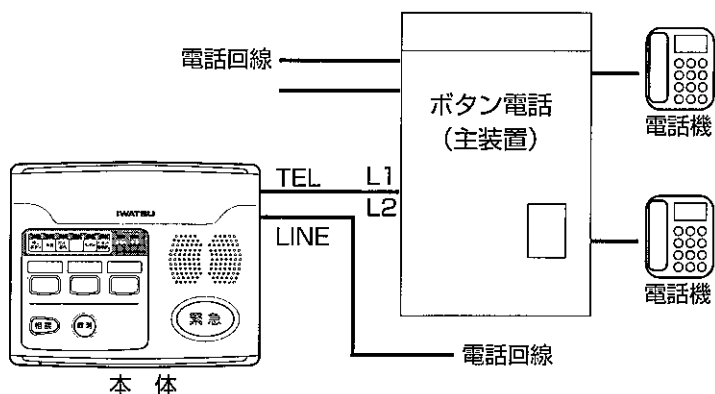
① 単独電話回線に接続する



ご注意

音声通報およびハンズフリー通話については相手応答による極性反転信号が得られること。
(フリーダイヤル(0120)発信の発信の相手先応答時極性反転信号は得られませんのでご注意ください。)

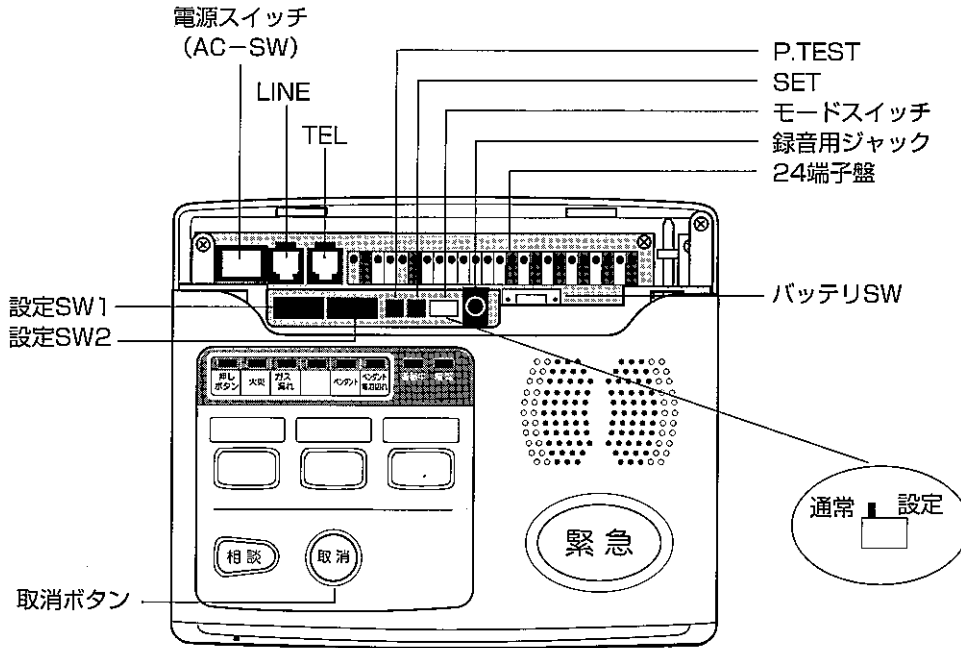
② ボタン電話装置の局線に接続する
(構内交換機の局線に接続する)



ご注意

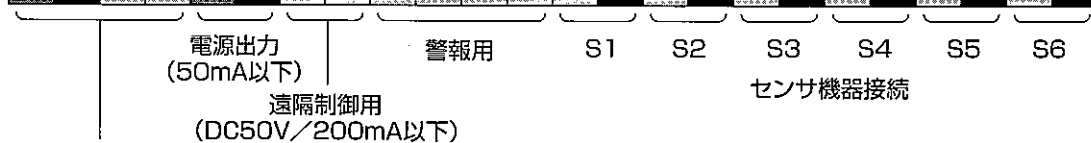
音声通報およびハンズフリー通話については相手応答による極性反転信号が得られること。
(フリーダイヤル(0120)発信の発信の相手先応答時極性反転信号は得られませんのでご注意ください。)

5. 各部の名称



- 電源スイッチ (AC - SW) AC100Vの給電スイッチです。
- LINE NTT 電話回線を接続します。
- TEL 併設電話機を接続します。
- P.TEST ペンダント試験用のボタンです。
- SET 登録・録音終了のボタンです。
- モードスイッチ 通常モードと設定モードを切り替えるスイッチです。
- 緊急ボタン ダイヤルポーズのボタンです。
- 取消ボタン データ取消のボタンです。
- 録音用ジャック 音声録音をオーディオ機器の音源から録音するとき接続します。
- バッテリ SW バッテリを接続・切り離すスイッチです。
- 設定 SW1 データ設定用のディップスイッチ1です。
- 設定 SW2 データ設定用のディップスイッチ2です。
- 24 端子盤 外部機器接続用端子盤です。

H F 1 2 V	H F G N D	H F 1	H F 2	1 2 V	G N D	接点 1 M	接点 1 C	接点 2 M 1	接点 2 C 1	接点 2 M 2	接点 2 C 2	S 1	G N D	S 2	G N D	S 3	G N D	S 4	G N D	S 5	G N D	S 6	G N D
-----------------------	-----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	--------	-------------	--------	-------------	--------	-------------	--------	-------------	--------	-------------	--------	-------------



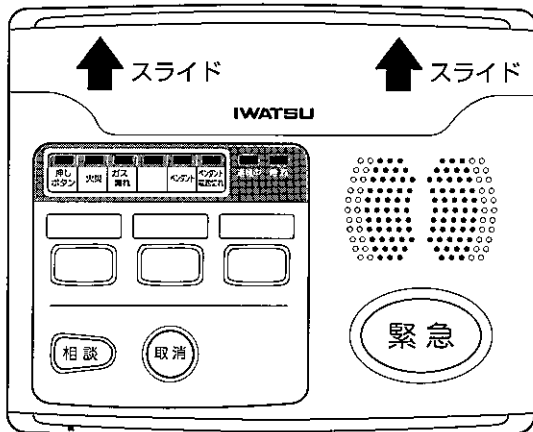
ハンズフリー機器接続
(次期発売製品機器用)

6. 工事手順

上ケース・カバーの取り外し、取付方法	31
本体設置前準備	32
ケーブル出し口処理	32
本体設置	32
アース線接続およびケーブル出し	33
有線押ボタンおよび各種センサ機器の接続工事	33
接続工事後の点検	34
電源投入・再投入	35
ディップスイッチの設定	35
スピーカ音量設定	35
データ設定	36
メッセージ録音	39
併設電話機および回線の接続	40
ペンダントの電池実装	40
ペンダントの起動	40
試験	41
工事終了後の点検	42
保証書の記入	42
本稼働	

7. 上ケース・カバーの取り外し、取り付け方法

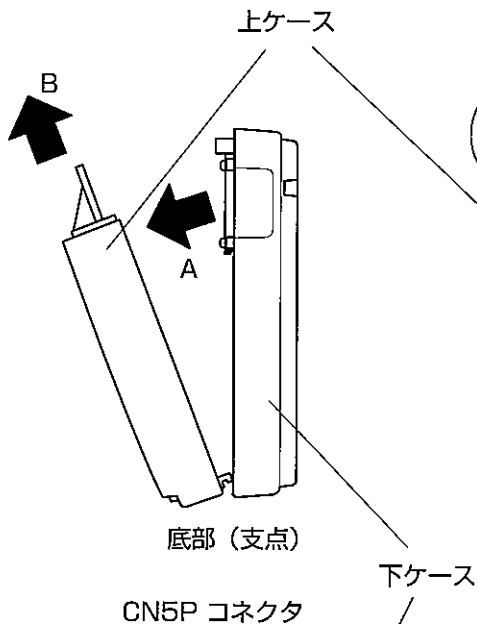
①



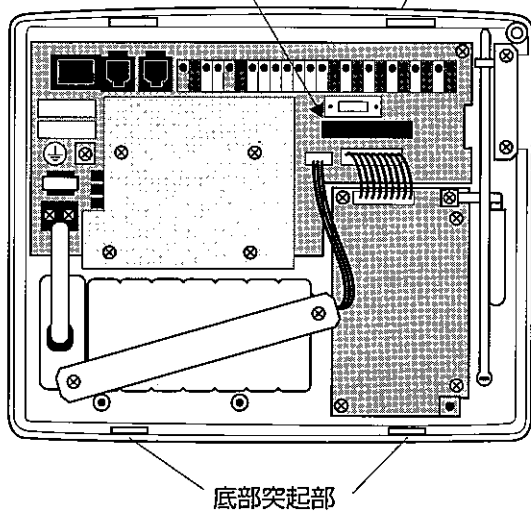
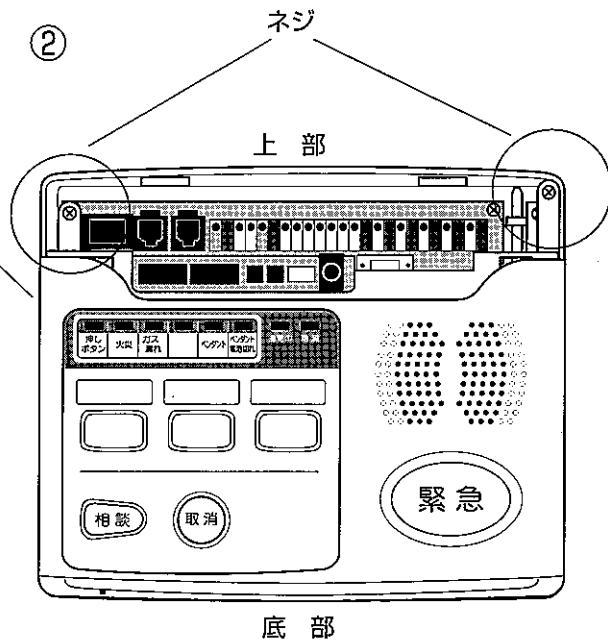
【取り外し】

- ①カバーを外すには矢印方向にスライドしてください。
- ②両サイドのネジを外してください。
- ③底部を支点にして矢印Aの方向に上ケースを下ケースから引き離してください。
- ④下ケース底部2カ所の突起部にて引っ掛けられていますので、矢印Bの方向に上ケースを外してください。

③・④



②

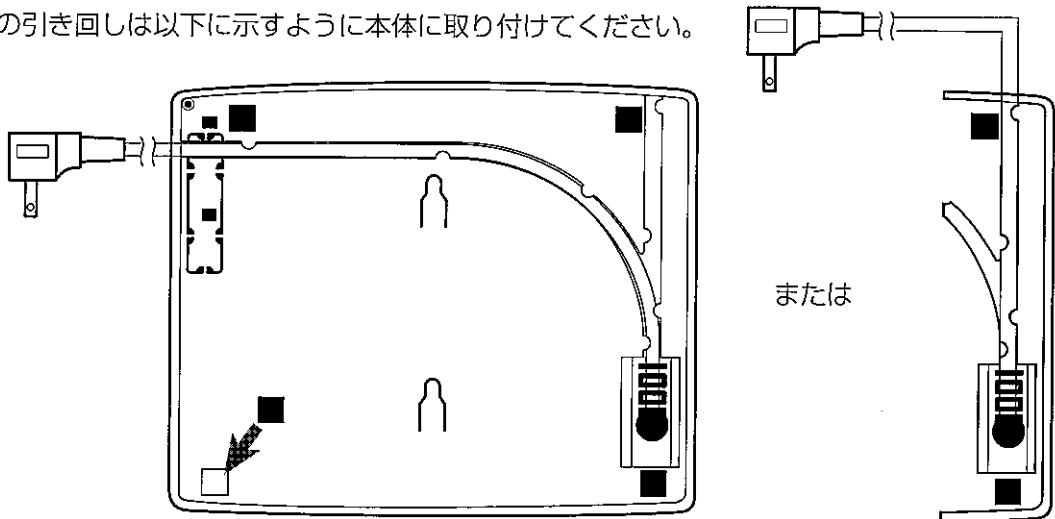


【取り付け】

- ①下ケース底部2カ所の突起部に上ケースの爪を引っかけて、底部を支点に矢印と逆の方向に上ケースを下ケースに重ね合わせます。この際、上ケースのコネクタと下ケースのCN5Pコネクタが接続されます。
- ②両サイドのネジ穴にネジを入れネジ止めします。
- ③カバーを取り付けるには矢印と逆の方向にスライドしてください。

8. 本体設置前準備

①電源コードの引き回しは以下に示すように本体に取り付けてください。



②卓上に置く場合は添付品のゴム足を下ケースのゴム足貼付位置に貼付してください。(4カ所)

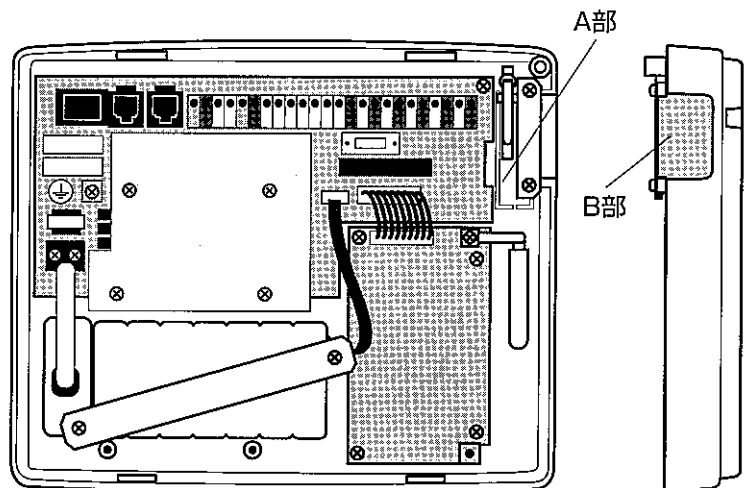
9. ケーブル出し口処理

【壁面出しの場合】

A部をカットしてください。

【側面出しの場合】

B部を取り除いてください。

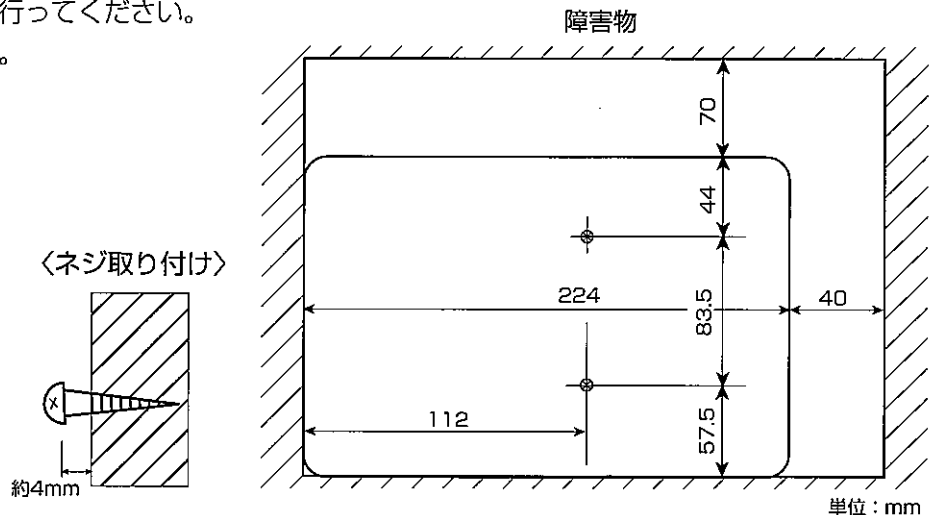


10. 本体設置

壁掛け型で使用する場合は以下に示すように設置してください。

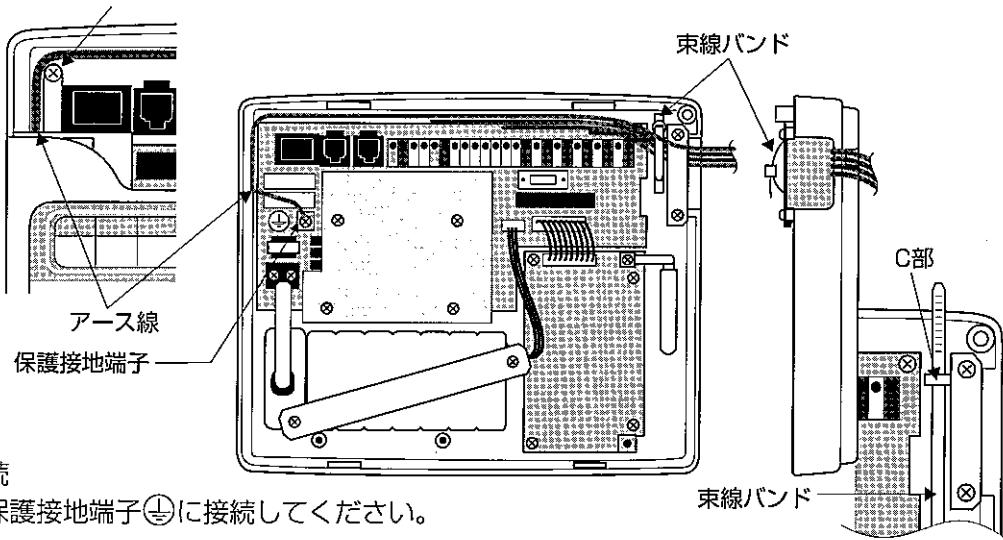
①2カ所の壁掛用穴の取付ネジ間隔に合わせ、添付ネジを壁にねじ込んでください。突出長さは約4mmです。
 なお、取り付けに際しては本書P 47の「本体設置型紙」を本書より切り取り、壁にテープ等で仮貼りして取付ネジ間隔合わせを行ってください。

②本体を引掛けてください。



11. アース線接続およびケーブル出し

ご注意 アース線が挟まないように上ケースをネジ止め願います。



①アース線接続

アース線は保護接地端子⊕に接続してください。

②ケーブル出し

ケーブル側面出しの場合はケーブルを束線バンドにて固定してください。

束線バンドはC部を通してケーブルをクランプしてください。



警告

必ずアース接続を行ってください。
アース接続は必ず、電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。
また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

12. 有線押ボタンおよび各種センサ機器の接続工事

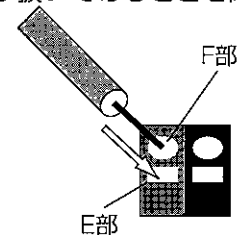
①有線押ボタンおよび各種センサ機器の接続はカバーを開けることにより24端子盤に接続することができます。接続は1端子に1本の単線を接続してください。

②接続は、ドライバ等棒状のものでE部を押しながらF部に単線を挿入します。単線が奥まで挿入されたらE部の押しを止めます。

③センサ機器は無電圧接点を使用してください。

④工事を行うときは電源スイッチ・バッテリースイッチをOFFに、電源プラグが抜いてあることを確認してください。

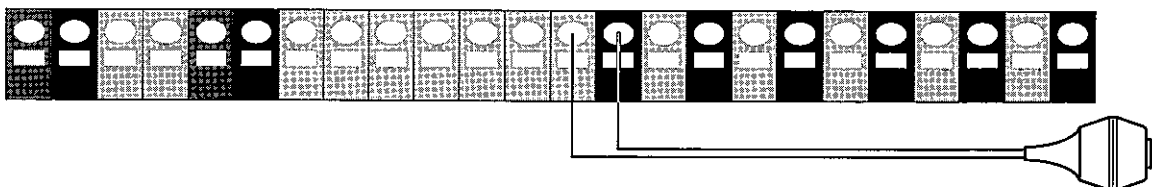
注：センサ端子に渡り配線をしないでください。



復旧時	動作時	センサの名称
		メークセンサ (NOまたはA接点)

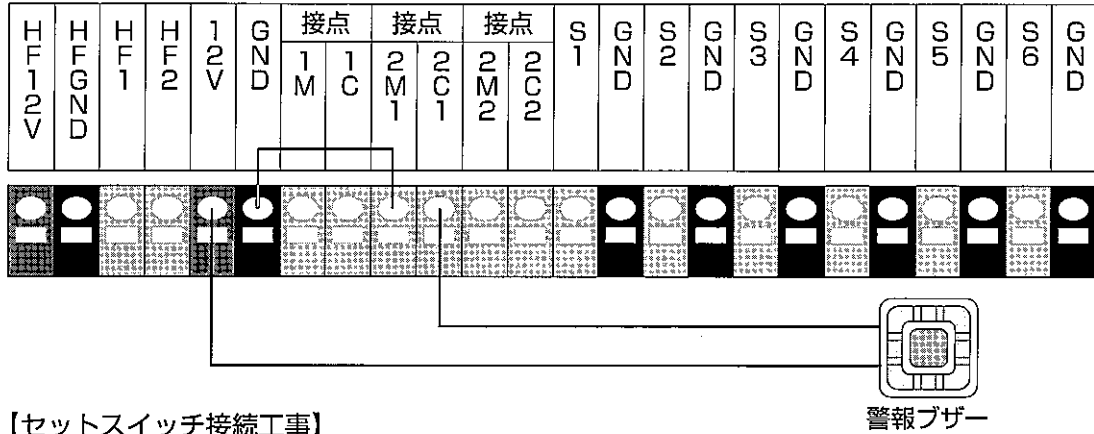
【有線押ボタン接続工事】

H F 1 2 V	H F G N D	H F 1	H F 2	1 2 V	G N D	接点 1 M	接点 1 C	接点 2 M 1	接点 2 C 1	接点 2 M 2	接点 2 C 2	S 1	G N D	S 2	G N D	S 3	G N D	S 4	G N D	S 5	G N D	S 6	G N D

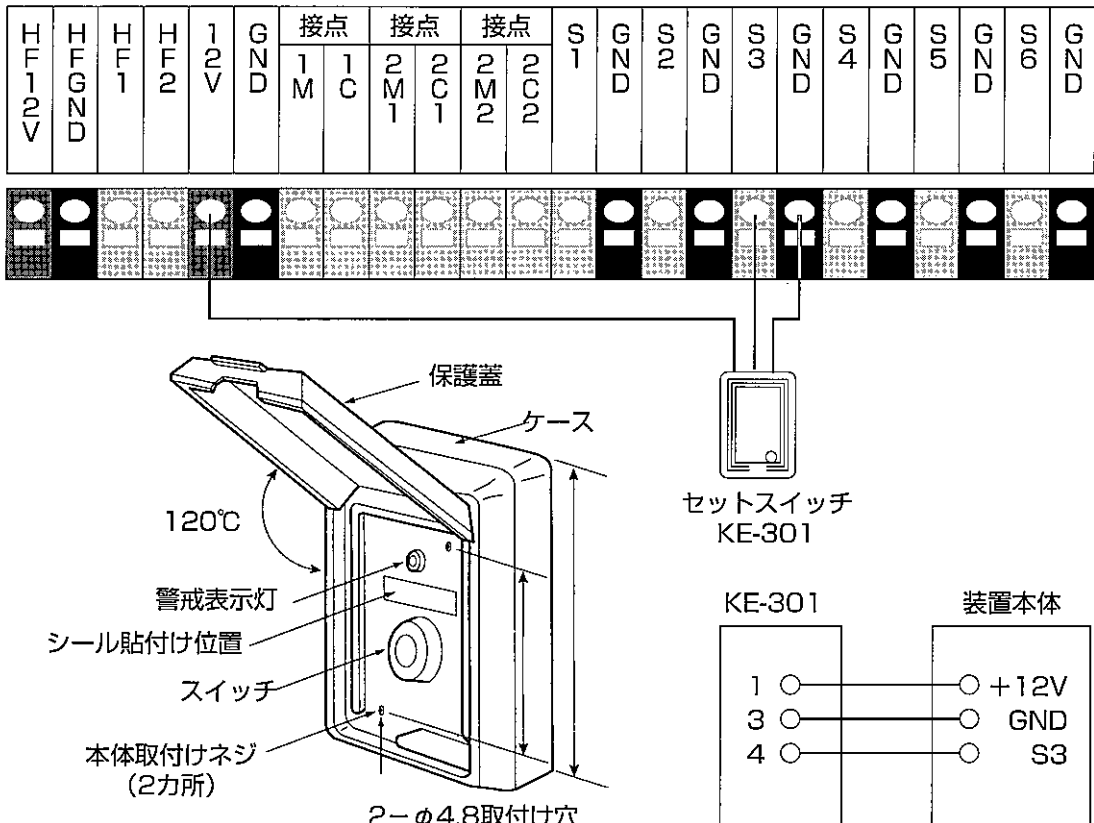


【警報ブザー接続工事】

外部出力接点によって警報ブザーを鳴動させる場合、以下の接続を行ってください。
 警報ブザーは SSS - 25S [コビシ電機] (12V) を推奨します。
 SSS - 25S 以外のブザーを使用する場合は弊社にご相談ください。
 警報ベルは使用しないでください。



【セットスイッチ接続工事】



13. 接続工事後の点検

ネジの締め忘れがないかを点検してください。
 誤接続がないか再点検してください。

14. 電源投入・再投入

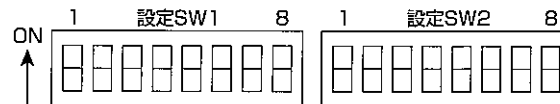
【電源を入れる】

- (1)電源コンセント(AC100V)に電源プラグを差し込んでください。
- (2)バッテリースイッチをONにし、次に電源スイッチ (AC-SW) をONにしてください。
- (3)電源ランプが点滅している場合は、バッテリーの接続を確認してください。
- (4)電源ランプが点灯しない場合は、バッテリースイッチをOFFにし、電源スイッチ (AC-SW) をOFFにしてください。電源プラグを抜き、バッテリーコネクタを外してから再度配線の確認を行ってください。
- (5)異常がある場合はバッテリースイッチをOFFにし、電源スイッチ (AC-SW) をOFFにしてください。電源ランプが消灯します。電源プラグを抜き、バッテリーコネクタを外してから再度配線の確認を行ってください。

【電源を切る】

- (1)電源を切る場合はバッテリースイッチをOFFにし、電源スイッチ (AC-SW) をOFFにしてください。電源ランプが消灯します。

15. ディップスイッチの設定



区分	スイッチ No.	ツマミの設定状態				機能説明
		○印	OFF側	○印	ON側	
設定SW1	1		DP		PB	ダイヤル信号の種別
	2		20PPS		10PPS	DPの速度 (DP時のみ有効)
	3		ENQ方式		極性反転方式	信号通報先応答検知方式
	4		あり		なし	通報時の案内放送・警告音
	5		案内放送		警告音	通報中のスピーカ音
	6		通報完了時に自動停止		「取消」ボタン操作	警告音と案内放送の停止条件
	7		あり		なし	ペンダント電池切れと 停電通報時のスピーカ音
	8		福祉用		設備用	伝送フォーマット
設定SW2	1		通報しない		通報する	ペンダント電池切れ通報
	2		通報する		通報しない	通報停止通報
	3		通報する		通報しない	停電/復電通報
	4		通報する		通報しない	在宅/不在通報
	5		火災		ガス漏れ	S3の種別
	6		あり		なし	ペンダントの有無
	7		-		-	スピーカ音量
	8		-		-	スピーカ音量

- *1: PT-2060MSはS3の種別をON側とし、その他はすべてOFF側に設定して出荷されます。
PT-2060MS1はS3の種別をON側、伝送フォーマットをON側、ペンダントの有無設定をON側とし、その他すべてOFF側に設定して出荷されます。
- *2: ペンダント電池切れと停電通報時のスピーカ音は、OFF設定してありますので鳴音します。
- *3: 音声通報では、ENQ信号は使えません。
- *4: S5、S6を警報・監視信号入力ポートとして使う場合には、ペンダントの有無設定をON側にしてください。

16. スピーカ音量設定

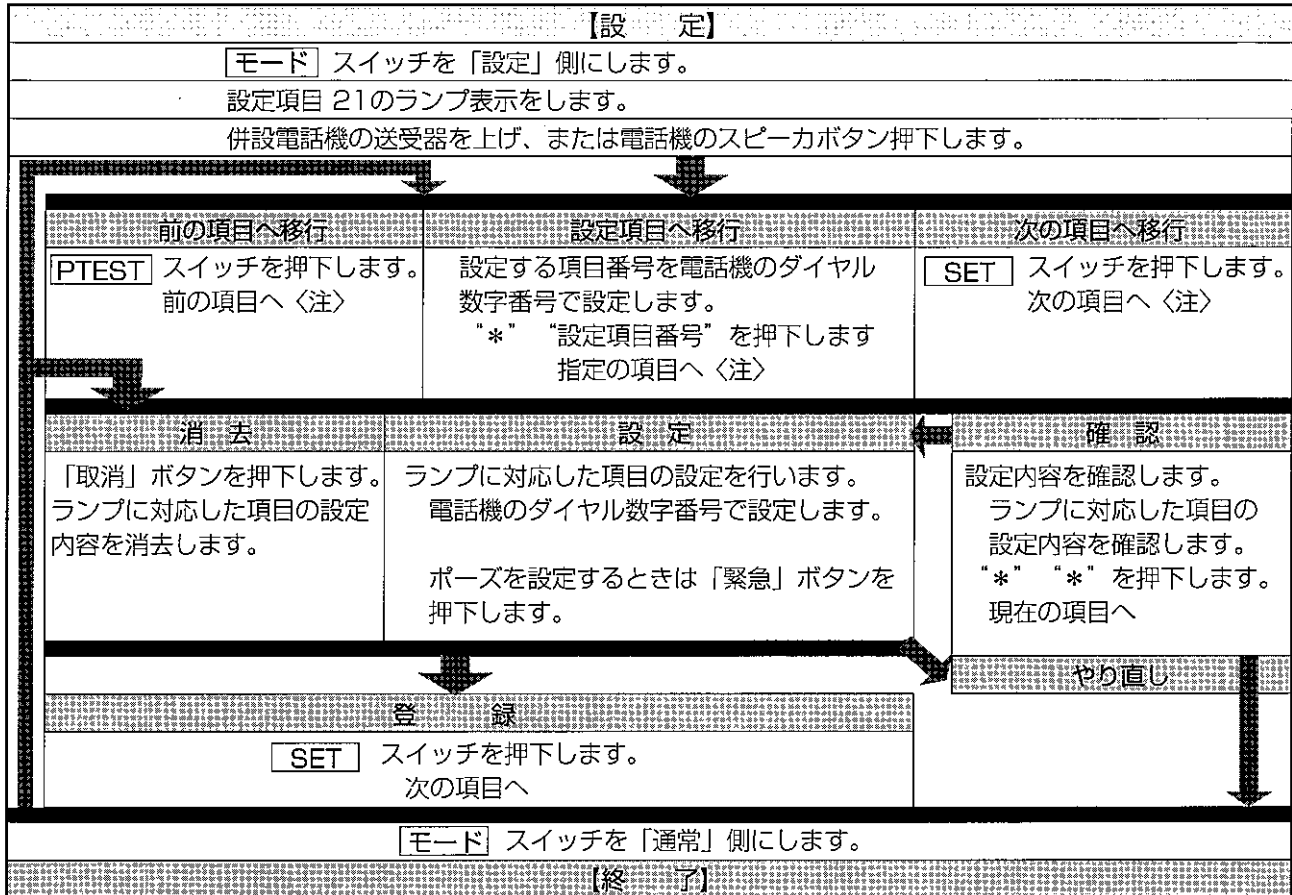
設定ディップスイッチ2	SW7	ON	OFF	OFF
	SW8	OFF	OFF	ON
スピーカ音量		大	中	小

17. データ設定

【データ設定方法】

ご注意

- ・「モード」スイッチを「設定」側にすると、通報動作を停止します。
- ・通報先と端末番号を登録しないで設定モードから通常モードにすると警告音になります。



〈注〉ペンダントのID登録/確認/消去は38頁の（*10）を参照してください。

【ランプ表示】

ランプ名称	状態表示	ランプパターン
【L1~L6ランプ】	データ設定 設定済み	
	データ設定 設定未	
【通報中ランプ】	データ設定2	
	データ設定3	
	データ設定4	
	データ設定5	
	データ設定6	

【データ設定方法】

□は初期値

設定項目	ランプ	設定内容	データ				
設定2		点滅 通報中ランプ消灯					
21	L1	第1通報先の電話番号設定 (*6) (max20桁)					
22	L2	第2通報先の電話番号設定 (*6) (max20桁)					
23	L3	第3通報先の電話番号設定 (*6) (max20桁)					
24	L4	端末番号の設定 (5桁)					
25	L5	定時通報の間隔時間設定 (*7)	[00]/01~97/98/99				
26	L6	定時通報の初期通報時間設定 (*8)	[00]~24				
設定3		点滅 通報中ランプ点灯					
31	L1	第1通報先の通報方式設定 (*6)	信号通報: [1]		音声通報: 2		
32	L2	第2通報先の通報方式設定 (*6)	信号通報: [1]		音声通報: 2		
33	L3	第3通報先の通報方式設定 (*6)	信号通報: [1]		音声通報: 2		
34	L4	通報先グループの設定 (*9)	[1]	2	3	4	5
35	L5	標準ペンダントIDの登録/確認/消去 (*10)					
36	L6	追装ペンダントIDの登録/確認/消去 (*10)					
設定4		点滅 通報中ランプ遅い点滅					
41	L1	S1~S6のメーク/ブレーク設定 (*1) (6桁)	S1・S2・S3・S4・S5・S6				
42	L2	S1~S6の入力有効条件設定 (*2) (6桁)	S1・S2・S3・S4・S5・S6				
43	L3	「相談」ボタンの電話番号設定 (*3) (max20桁)	1	#			
			2				
44	L4	「ワンタッチ1」ボタンの電話番号設定 (*3) (max20桁)	1	#			
			2				
45	L5	「ワンタッチ2」ボタンの電話番号設定 (*3) (max20桁)	1	#			
			2				
46	L6	「ワンタッチ3」ボタンの電話番号設定 (*3) (max20桁)	1	#			
			2				
設定5		点滅 通報中ランプ早い点滅					
51	L1	セットスイッチの有無設定	なし: [0]		あり: 1		
52	L2	ハンズフリーの設定 (*4)	[0]	1	2	3	
53	L3	ライブセンサの有無設定	なし: [0] (S4盗難)		あり: 1		
54	L4	ライブ通報時間の設定 (*7)	[00]/01~97/98/99				
55	L5	一般回線/ピンク電話設定	一般回線: [0]		ピンク電話: 1		
56	L6	音声通報の通報メッセージの録音/再生					
設定6		点滅 通報中ランプ2重点滅					
61	L1	着信自動応答の着信回数設定	[00]	05	10	20	
62	L2	着信自動応答の応答メッセージ有無	なし: [0]		あり: 1		
63	L3	着信自動応答の暗証番号設定 (4桁)	0000~9999				
64	L4	警報用リレーの対応センサ有無設定 (*5) (6桁)	S1・S2・S3・S4・S5・S6				
65	L5						
66	L6						

(* 1) 0:メーク/1:ブレークを6桁設定 【初期値 0】

(* 2) 0:随時有効/1:不在時有効(盗難)/2:在宅時有効(ライブ)を6桁設定 (3桁目は無効) 【初期値 0】
入力有効条件設定はセットスイッチの有無設定にて“あり”としたときのみ有効となります。

(* 3) 電話番号は#で区分けし、2個登録可能

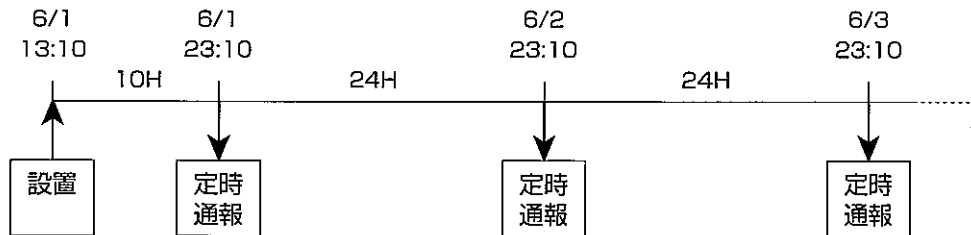
(* 4) 0:ハンズフリーなし/1:本体ハンズフリーのみ/2:本体+ハンズフリー機器/3:ハンズフリー機器のみ
【初期値 0】

(* 5) 0:なし/1:あり 【初期値 1】

- (* 6) ダイアルのポーズは「緊急」ボタンを押して設定します。
1回、「緊急」ボタンを押下すると約2秒のポーズが挿入されます。ポーズ挿入時間は「緊急」ボタンの押下回数によります。なお、ポーズ1回は1ダイアル桁に相当します。
【ポーズ挿入の確認は確認音（単音の回数）にて行います。】

- (* 7) 定時通報の間隔時間設定 【初期値 00】
01………1時間 ~ 97………97時間 98………240時間（10日） 99………720時間（30日）
00………通報動作を行わない

- (* 8) 定時通報の初期通報時間設定 【初期値 00】
例) 設置日時：6月1日 13:10
設定：時間間隔=24、初期通報時間=10



- (* 9) 通報先グループの設定 【初期値 1】
通報先グループの設定については、自治体とご相談のうえお決めください。
i 【第一通報先】か【第二通報先】か【第三通報先】のどれか1カ所に通報(OR 通報)
ii 【第一通報先】と【第二通報先】と【第三通報先】の3カ所すべてに通報(AND 通報)
iii 【第一通報先】と【第二通報先】の2カ所に通報(AND 通報)
iv 【第一通報先】と【第二通報先】の2カ所に通報(OR 通報)
v 【第一通報先】に通報
vi 【第三通報先】に通報

5パターンがあり、起動種別とグループ分けは以下の通りです。

		通報先グループ				
		1	2	3	4	5
各種警報監視信号	「緊急」ボタン					(v)
	【S1】 (押ボタン)					
	【S2】 (火災)	(i)	(ii)	(iii)	(iv)	(iii)
	【S3】 (ガス漏れ)					
	【S4】					
	【ライブ通報】					(v)
	【S5】 (ペンダント)					
機器情報	【S6】 (ペンダント電池切れ)					
	【通報停止通報】					
	【定時通報】					
	【停電通報】	(i)	(ii)	(iv)	(iv)	(iv)
	【復電通報】					
	【不在通報】 (監視開始)					
	【在宅通報】 (監視解除)					

- (* 10) ペンダントID登録/確認/消去
 - i ペンダントID登録項目に移行します。
 - ii ペンダントを本体に近づけ(約30cmの位置にて)、「取消」ボタンを押下状態にして、ペンダントの押ボタンを押下してください。
 - iii ペンダントの通報ランプが約3秒点灯したことを確認してください。
 - iv 登録は終わりです。
 - v “*” “*”にて登録内容を確認します。
 - vi ペンダントの起動(40頁)の【ペンダント試験】を参照し、ペンダント試験をしてください。
 - vii IDを削除したい場合にはペンダントID登録項目に移行して、「取消」ボタンを押下することでデータを消去します。

18. メッセージ録音

【録音方法】

- (1)データ設定にて、音声通報の通報メッセージの録音／再生「56」項目に移行します。
- (2)電話機から音声番号と「取消」ボタンを押下します(L1～L5が点滅)。
- (3)録音のやり直しは“*”“*”にて行います。
録音内容を再生して、音声通報の通報メッセージの録音／再生「56」項目の初期に戻ります。
- (4)L1～L5が点滅状態にて“#”を押下しますと録音を開始します(L1～L5が減少)。
L1～L5が全て消灯したら録音終了です。
- (5)録音可能時間前に終了する場合には **SET** スイッチを押下します。

【再生方法】

- (1)データ設定にて、音声通報の通報メッセージの録音／再生「56」項目に移行します。
- (2)電話機から音声番号と“#”を押下する。
- (3)録音されている内容を再生します。

【音声番号】

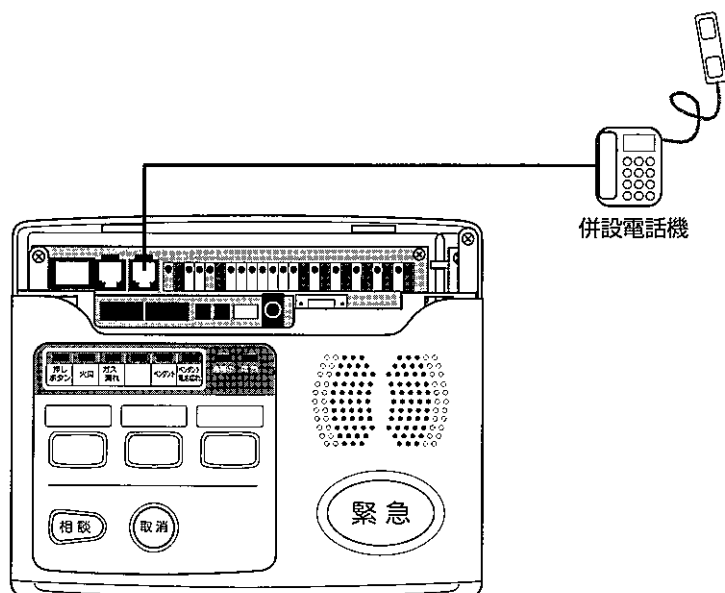
種 類	音声番号	メ ッ セ ー ジ	録音最大時間
IDメッセージ	00	緊急 緊急	5秒
緊急メッセージ	S1	押しボタン通報	5秒
	S2	火災発生	5秒
	S3	ガス漏れ発生	5秒
	S4	盗難発生	5秒
	S5	ペンダント通報	5秒
	S6	ペンダント電池切れです。	5秒
機器情報メッセージ	通報停止	本体電池切れです。	5秒
	定時通報	定時通報です。	5秒
	停電	停電です。	5秒
	復電	復電です。	5秒
音声ガイドメッセージ	11	ただいま呼び出しております。そのまま でお待ちください。	7秒

*1：本装置は緊急通報装置です。

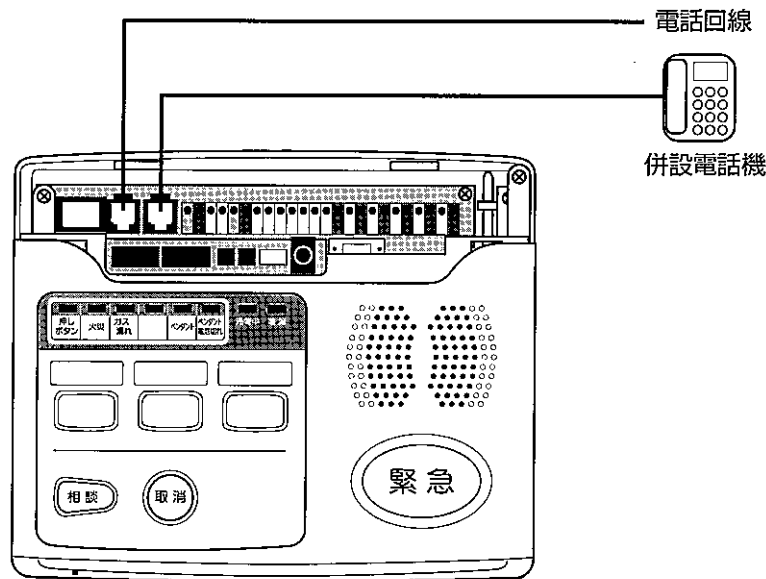
IDメッセージに本装置の所在地などを録音しなす場合「緊急」という言葉を含めてください。

【録音構成】

併設電話機より録音できます。



19. 併設電話機および回線の接続

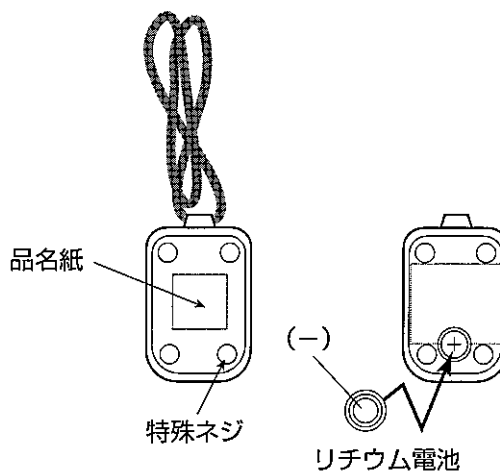


20. ペンダントの電池実装

- (1)使用する電池は、リチウム電池 CR-1 / 3N です。(本製品ご購入時は電池が添付されています。)
- (2)特殊ドライバを使用して、ケースの裏側にある特殊ネジを外し、ケースを開け新しい電池を実装します。
- (3)実装が終わったら、ケースを合わせ、特殊ネジで締めます。(ケース合わせ、締付け方により防水構造が保てない場合がありますので締付け時には充分注意願います。)
- (4)電池実装後、ペンダント試験をします。

注意

電池は1年で交換してください。
電池実装時はショートしないように注意してください。
製造業者の推奨する電池または同タイプの電池と交換してください。
使用済み後の電池を捨てる時は製造業者の指示に従ってください。



注意

電池実装について
電池を実装するときは極性表示に注意し、表示どおりに入れてください。間違えますと電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

21. ペンダントの起動

【ペンダント試験】

- ・本体のペンダント試験スイッチ PTEST を押し、スピーカ音を鳴音させます。
- ・鳴音中(約 30 秒間)にペンダントの押ボタンを押し、電波を発信させます。
- ・本体で電波が受信できると、スピーカ音の鳴音が低音に変わります。
- ・「取消」ボタンを押し、ペンダント試験を終了します。

22. 試験

センサ試験

モード スイッチを通常側にして、電話回線のモジュラプラグをLINEから外した状態にて行います。

- (1)センサ機器を動作させます（この時点で対応する情報ランプが点滅します）。
- (2)「取消」ボタンを押すことにより情報ランプは消灯します。
- (3)センサ機器を復旧させます。
- (4)セットスイッチをS3に接続した場合は、情報ランプL3が不在（ON）で点灯、在宅（OFF）で消灯します（「取消」ボタンを押してもランプ表示は変わりません）。

電波の届く範囲の確認

モード スイッチを通常側にして、電話回線のモジュラプラグをLINEから外した状態で電波の届く範囲の確認を行います（手順は以下の通りです）。

- (1)ペンダントの押ボタンを1回だけ押します。ペンダントのランプと本体のペンダントランプL5が点滅します。
- (2)「取消」ボタンを押し、ペンダントランプL5の消灯を確認します。
- (3)本体から離れた位置でペンダントの押ボタンを1回だけ押します。
- (4)ペンダントの押ボタンを押しても本体のペンダントランプL5が点滅しない位置が無線の届く範囲の境界です。本体のペンダントランプL5が点滅しなくなるまで（2）～（5）を繰り返します。
- (5)電波の届く範囲の境界を建物の間取り図に記入し、お客様に使用範囲を徹底させてください。この間取り図はお客様および取扱店の双方にて保管しておいてください。
周囲条件によって、電波の伝わりにくい場所（金属扉やコンクリートの壁のかげ、ラジオ、テレビ等の送信所の近く）では使えないことがあります。その場所を確認し、お客様に使用範囲を徹底させてください。
- (6)本装置の設置環境によってはペンダント通報ができない場合があります。この場合は、本体に内蔵の無線受信ユニットのアンテナを60°まで引き起こすことによって、受信できる場合があります。

通報試験

警報・監視信号情報・機器情報とメッセージの対応は「第2章 仕様の3-1. 通報」の通りです。

通報先履歴

- (1)L1～L3ランプにより起動した警報・監視信号情報・の通報先確認を行います。
- (2)通報先の確認は**SET**スイッチの押下中に行います。ランプ表示にて通報先の応答状況を確認します。

ランプ表示は以下の通りです。

ランプ名称	状態表示	ランプパターン
【L1～L3ランプ】	通報先履歴	
	応答完了	
	未応答状態	

- 【L1ランプ】 ……第一通報先
- 【L2ランプ】 ……第二通報先
- 【L3ランプ】 ……第三通報先

- (3)記憶内容の消去は「取消」ボタンの押下にて行います。

警報・監視（センサ）入力信号確認

- (1) L1～L6 ランプにより起動した警報・監視信号情報・の確認を行います。
 (2) 入力信号の確認は「取消」ボタンの押下中に行います。ランプ表示にて起動した警報・監視信号情報・の確認をします。
 ランプ表示は以下の通りです。

ランプ名称	状態表示	ランプパターン
【L1ランプ】 = S1 【L2ランプ】 = S2 【L3ランプ】 = S3 【L4ランプ】 = S4	センサ ：メーク	
【L5ランプ】 = S5 【L6ランプ】 = S6	センサ ：ブレーク	

受信機の印刷フォーマット

受信機の取扱説明書を参照ください。

23. 工事終了後の点検

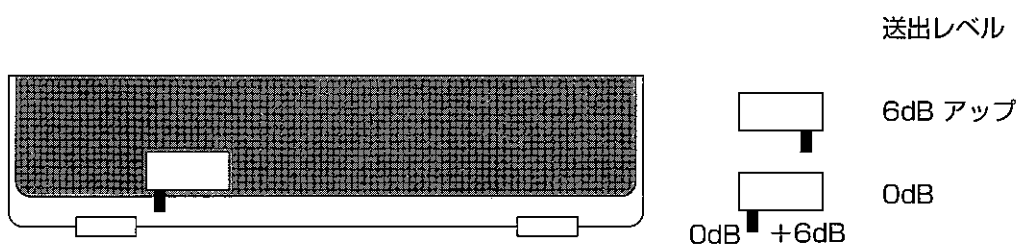
点検項目	チェックポイント
電源ランプ	AC100V通電中は点灯します。 電源プラグを抜くと点滅します。
通報先電話確認 端末番号確認 定時通報時間確認 通報先グループ確認	モード スイッチを設定側にして、送受器にて設定内容を番号にて確認してください。 (36、37、38頁参照)
センサ試験	電話回線のモジュラプラグを外してセンサ試験を行ってください。(41頁参照)
警報・監視（センサ） 入力信号確認	モード スイッチを通常側にして、センサの状態を確認してください。
通報試験 通報先履歴	モード スイッチを通常側にして、通報先へ正しく情報が送出されたか確認してください。(41頁参照)
バッテリーによる動作	電源プラグを抜いて動作異常がないか確認してください。

24. 保証書の記入

保証書（49頁）に保証期間、ご愛用者の氏名・住所・電話番号・お取付日、販売店の社名・住所・電話番号を記入してください。

25. 送出レベルの設定

回線の線路損失が大きい場合は、次に示す要領にて送出レベル切換 SWを切り替えてください。
 選択信号以外の送出レベルが切り替わります。

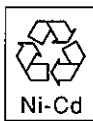
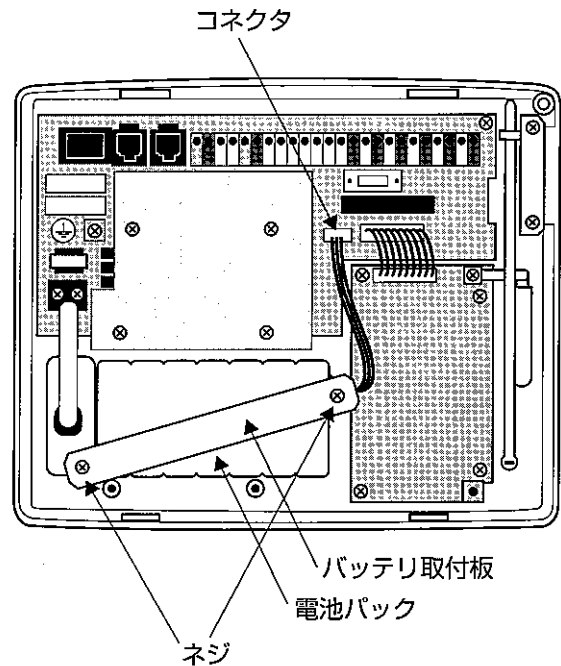


26. 電池パック交換

使用電池パック： 7N - 700ACL - IWAS (SANYO製) 700mAh

- ①電源スイッチ・バッテリー SW を OFF にします。
- ②カバー・上ケースを外します。
- ③ネジを外し、バッテリー取付板を外します。
- ④バッテリーと本体を接続している 3P コネクタを外します。
- ⑤新品の電池パックを装着し、コネクタを差し込みます。
- ⑥バッテリー取付板をはめ込み、ネジを締めます。
- ⑦上ケース・カバーを取り付けます。

新品の電池パックは未充電状態となっています。
交換後は充電する必要があります。



●電池パック回収のお願い

電池パックはリサイクル可能なニカド電池です。不要になった電池パックは、お買い求めになった販売店にご持参いただくか、販売店担当者にお渡しください。リサイクルの推進にご協力ください。



警告

電池パックの取り扱いについて

電池パックを取り扱うときは、次の点にご注意ください。

- *必ず専用の電池パックをお使いください。
- *電池パックを破って取り出したり、充電したりしないでください。
- *火の中に投入したり、分解・加熱したりしないでください。
- *端子を短絡(ショート)させないでください。

第4章 保守、定期点検要領

以下の内容により点検してください。

チェック項目				
使用環境	周囲	①周囲に粉塵はありませんか？		
		②温度、湿度は、許容範囲ですか？		
		③振動や衝撃の影響はありませんか？		
		④煙・油煙・湯気を受けていませんか？		
		⑤昆虫(害虫)などが徘徊していませんか？		
	外観	①取り付けは固定されていますか？		
		②外観に変形や損傷はありませんか？		
		③汚れや塵埃がひどくありませんか？		
		配線	電話	①電話回線の乱れ・断線はありませんか？
				②併設電話機は正常に使用できますか？
③電話回線への接続は併設電話機2台以内ですか？				
④併設電話機はダイヤル式からプッシュ式(PB信号方式)に変更になっていませんか？				
電源	①電源コンセントは、タコ足配線されていませんか？			
	②電源コードの破損・断線はありませんか？			
	③使用電源は、AC100V±10Vの範囲ですか？			
	④停電時に電池で動作しますか？			
	⑤停電を復旧(復電)させたときに、正しい動作をしますか？			
	⑥保護接地端子にアース線が接続されていますか？			
警報	①入力線の乱れ・断線はありませんか？			
	②入力線には電圧がかかっていませんか？			
	③入力条件 (1)警報が発生していない状態のとき、抵抗値は約∞Ω [メーク設定時 / 約0Ω [ブレーク設定時] ですか？ (2)警報を擬似的に発生させたときに、入力はループ [メーク設定時] / オープン [ブレーク設定時] ですか？			
	④警報・監視信号入力動作時間は、0.5秒以上ありますか？			
機能	装置	①スイッチや端子は、破損していませんか？		
		②各表示ランプは、切れていませんか？		
		③設定してある内容は、併設電話機にて音声確認できますか？		
	条件設定	①警報・監視信号入力条件は、設定の通りですか？		
		②スピーカ音の鳴音条件は、設定の通りですか？		
		③メッセージの再生音は、設定通りですか？		
		④通報条件は、設定通りですか？ 設定通りに相手は受信できますか？		
	添付品	①説明書はありますか？		
	本体電池	電池製造年月は？	年 月	
		交換時期はいつになりますか？	年 月	
液漏れはありませんか？				
ペンダント	交換時期はいつになりますか？	年 月		
	液漏れはありませんか？			

1. 注意事項

- (1) PT - 2060MS / MS1 は停電時にもバッテリーで動作しますが、電源コンセントへのプラグの差し込み忘れ、外れや分電盤のスイッチ切りにて停電状態にならないよう十分注意してください（満充電には48時間以上の連続充電が必要となります）。
- (2) PT - 2060MS / MS1 へ3台以上の電話機を接続しないでください。
- (3) PT - 2060MS / MS1 を保管するときは、必ずバッテリースイッチをOFFにしてください。
- (4) **SET** スイッチを押し続け、ランプが早い点滅をしている場合は、通報において異常が起こったことを示します。
 - ① L1 ランプ……………第一通報先に対して再発信をしても通報できなかった場合
 - ② L2 ランプ……………第二通報先に対して再発信をしても通報できなかった場合
 - ③ L3 ランプ……………第三通報先に対して再発信をしても通報できなかった場合
- (5) ケーブル固定金具に付いているスポンジはケーブルの隙間からのゴキブリ等の進入を防ぐためのものです。ケーブルは、必ずスポンジゴムではさんで固定金具を取り付けてください。（スポンジの取り外し禁止）
- (6) センサ機器用端子に線材挿入する場合、剥きしろは10mmとし、挿入後線材が引き抜けないことを確認してください。

第5章 故障かな？と思ったら

修理に出す前にもう一度以下の点をチェックしてください。

電話が使えない	電話機コードが外れ・切れていませんか？ 通報中ではありませんか？ (通報中は併設電話機を使用できません。)
電源ランプが消えている	停電になっていませんか？ AC電源プラグが抜けていませんか？ AC電源コードが断線していませんか？ ブレーカが作動していませんか？ バッテリー接続コネクタが外れていませんか？ バッテリーSWがOFF側になっていませんか？
電源ランプが点滅している	停電になっていませんか？ AC電源プラグが抜けていませんか？ AC電源コードが断線していませんか？ ブレーカが作動していませんか？
電源ランプが早い点滅となっている	バッテリー接続コネクタが外れていませんか？
通報中ランプがいつまでたっても消えない	「取消」ボタンを押すと消えます。
すべてのランプが点滅・点灯している	「取消」ボタンを押すと消えます。
ボタンを押しても通報しない	電話は使えますか？ 使えないとしたら電話回線が断線していませんか？
ペンダントの押ボタンを押しても本体L5ランプが点滅しない	電波の届く範囲の外に出ていませんか？

【本体設置型紙】

〈きりとり線〉

【本体設置型紙】



第6章 保証書

IWATSU 保証書			
製品名	パトホンPT-2060MS「」		
お買い求めの日	年 月 日	保証期間	お買い求めの日より1年間
(1) お客様様	〒	TEL	
	ご住所		
	ご氏名	様	
(2) 販売店印			

この製品をご使用中、正常なご使用状態で自然故障した場合は、本保証書記載内容により1年間無料修理いたします。

- 修理はお買い求めの販売店に本保証書を提示の上ご依頼ください。
- お買い求めの日、販売店印などの記入漏れがあると無効になります。必ずご確認ください、記入のない場合はお買い求めの販売店にお申し出ください。
- ご転居・ご贈答品などでお買い求めの販売店に修理を依頼することができない場合は、下記電話番号にご相談下さい。
- 本書は再発行いたしません。たいせつに保管してください。

※ご記入いただいた内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。ご迷惑がございませんので、ご了承ください。

岩崎通信機株式会社
〒168-8501 東京都杉並区久我山1-7-41
03-5370-5700

ご注意

保証規定

- 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買い上げの販売店が無料修理いたします。ただし、離島およびこれに準ずる遠隔地への出張修理は、出張に要する実費をいただきます。
- 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 本書のご提示がない場合。
 - (ロ) 本書にお買い求めの日・お客様名・販売店印の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
 - (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
 - (ニ) お引渡し後の移動、落下などによる故障・損傷。
 - (ホ) 火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など。外部に原因がある故障・損傷。
 - (ヘ) 消耗部品が損耗し取り換えを要する場合。
 - (ト) 電池の液もれによる故障・損傷。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

★この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。また、保証期間経過後の修理などにつきまして、おわかりにならない場合はお買い上げの販売店または弊社営業拠点にお問い合わせください。

年月日	修理者	ご確認	修理メモ



ご不明の点がございましたら、下記電話番号へお気軽にご相談ください。

創造と豊かな対話のために _____

IWATSU 岩崎通信機株式会社

〒168-8501 東京都杉並区久我山1-7-41

TEL 03-5370-5700